

わが国では、少子超高齢社会の人口及び疾病構造を見据えた社会保障制度改革、特に地域包括ケアシステムの構築、医師の働き方改革などの医療提供体制の再構築に向けた取り組みや、少子化対策・子ども政策の強化、女性・高齢者の労働参加が進められている。

さらに、団塊ジュニアが高齢者となる一方で支える人口が減少するなどの様々な社会情勢の大きな変化が見込まれる2040年に向け、一層の制度や体制の整備が求められ、第8次医療計画にも反映されるように取り組みの検討が進められてきた。

このような状況の中、全国的な課題である看護職不足は継続しており、令和5年10月には「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が30年ぶりに初めて改正され、量的確保と資質向上を図りながら看護職の確保を推進する方向性が示された。

本県においても2025年には約8,800人の看護職不足が推計されており、看護職の定着・確保対策は重要課題である。病院や訪問看護ステーションに勤務する看護職の離職率は高止まりの傾向にあり、労働環境・処遇改善など働き続けられる環境づくりの推進がますます重要になっている。

さらに、県民の健康上のニーズの増大や、デジタル改革等の社会の変化に対応し、看護職が役割を発揮するためには、新たな知識や技術を学び直すため看護職自身が生涯学習に主体的に取り組み、自らキャリア形成に努めること、職能団体や所属する組織には生涯学習を支援する役割が求められている。

また、少子超高齢社会に向けて、医療は病院完結型から地域完結型への移行が加速し、増加する医療依存度の高い在宅療養者や障がい者への支援、社会を支える次世代の子どもたちの健全な育成が求められている。このため、出生前から人生の最終段階に至る全世代を対象に、施設や地域等あらゆる場所で健康の保持増進から看取りまでを専門職や地域住民、自治体等が協働して支える共生社会のしくみである「全世代を対象とした地域包括ケアシステム」の構築・推進が必要である。そのため、在宅医療を支える人材育成、関係機関・団体との連携体制の構築、看一看護連携や多職種とのネットワークづくり（地域連携）、訪問看護への総合的な支援等地域の実情に応じて看護の視点で健康に関する地域課題を共有し、生活の場である地域において切れ目のないケア提供ができるよう進めていく必要がある。加えて、近年の広範囲にわたる災害や新興感染症など県民の生命と生活を脅かす健康危機に対応する体制強化も重要である。

医療政策の分野では、地方分権の推進により、看護職に関わる政策・事業の多くが国から地方に移行している。看護職の機能と役割を十分に発揮するため、今後は一層千葉県、市町村と連携した政策策定への参画と看護政策の推進が重要となる。職能団体として、看護職に関わる様々な課題の解決を進め、地域の各実践の場において、看護職が的確に役割を果たすためには、医療・看護に係る政策の推進役となる本協会が、戦略的・継続的に看護政策を推進する力をつけていくことが必要となっている。そのためには、入会促進活動の推進により会員増を図るとともに、職能間の連携強化が重要である。

以上により、令和6年度本協会は、社会の動向を見据え、看護職が果たすべき役割を見極めながら、看護の専門性を発揮し、県民の健康な生活を支えるべく、令和5年度に取り組んできた5つの重点事業を充実し、「地域における看護職の定着・確保の推進」「質の高い看護の提供体制の構築・推進」「全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進」「地域における健康危機管理体制の強化」「組織基盤の強化」とし、地域において全世代の健康を支える取り組みを継続的に進めることとして、事業を展開していく。

令和 6 年度 重点事業

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

重点事業：

- 1-1 第5次看護職定着・確保の推進
- 1-2 ヘルシーワークプレイスの推進
- 1-3 ナースセンター事業の推進
- 1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

- 2-1 生涯学習支援
- 2-2 看護研究学会の開催
- 2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発
- 2-4 特定行為研修制度の普及・活用
- 2-5 中小規模病院看護管理者の育成
- 2-6 医療安全対策の推進

- 3-1 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進
- 3-2 訪問看護・看多機の推進
- 3-3 地域包括ケアを実現するための人材確保（保健師・助産師・訪問看護師等）

- 4-1 大規模災害発生時の対応体制の強化
- 4-2 新興感染症等パンデミックへの対応体制の強化
- 4-3 協会における事業継続計画（BCP）の策定

- 5-1 会員の定着・確保・拡大
- 5-2 看護政策推進力の強化

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-1 第5次看護職定着・確保の推進

実施内容

1. 第5次看護職定着確保推進計画の推進

- 1) 看護職定着確保推進計画の推進
- 2) 看護職定着確保対策協議会の開催 年1回
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。本県は特に慢性的な看護師不足が続いており、地域偏在や領域別偏在が指摘されている。このような中で、令和3年度から5か年計画となる第5次看護職定着・確保推進計画を作成し、目標を達成するための設定指標（数値目標）を設定して各事業を推進している。

成果

- 1) 看護職定着確保推進計画の推進
- 2) 看護職定着確保対策協議会の開催 3/3 集合開催 委員10名出席
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発
 - (1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報掲載継続

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-2 ヘルシーワークプレイスの推進（健康で安全な職場づくりの取り組み）

実施内容

1. ヘルシーワークプレイス推進事業

- 1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加
- 2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間（10/1～10/7）」の推進
 - （1）ヘルシーワークプレイス交流会
- 3) ヘルシーワークプレイス研修（生涯学習）
- 4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化
 - （1）電話・メール相談
 - （2）施設支援
- 5) 看護職の処遇改善に関する実態把握

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

千葉県では慢性的な看護師不足や離職率が高い状況が続いており、看護職定着・確保推進計画の目標に「質の高い医療・看護を提供するため、看護職が働き続けられる職場づくりの推進」を掲げ、ヘルシーワークプレイス推進事業等に取り組んでいる。これまでの取り組みから、労働条件や処遇改善、ハラスメント対策、子育て支援制度の整備、多様な勤務形態の導入などの効果がみられたが、相談窓口には多岐にわたる相談が寄せられている現状がある。

引き続き、ヘルシーワークプレイスの実現に向けて、ヘルシーワークプレイスガイドライン（日本看護協会2004年度策定）の活用を図りながら取り組むこととする。推進に当たっては、ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援や、会員施設の交流等を通して、県内施設が健康で安全な職場を目指すよう支援する。

成果

- 1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 応募施設 7施設
- 2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間（10/1～10/7）」の推進
 - （1）ヘルシーワークプレイス交流会 10/3 参加者101名
- 3) ヘルシーワークプレイス研修（生涯学習）
- 4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化
 - （1）相談 52件 相談案内カード・チラシを随時配布
 - （2）施設支援 32件
- 5) 看護職の処遇改善に関する実態把握
 - 看護職の定着・確保に係る実態調査（病院看護管理者対象）
 - 今年度の診療報酬改定による給料のベースアップ予定施設 67.9%

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-3 ナースセンター事業の推進

(安定的な定着・確保対策の実践、再就業支援等)

実施内容

1. ナースセンター事業

- 1) 看護職の定着確保に係る実態調査
- 2) 看護職の無料職業紹介
- 3) 届出制度
- 4) 未就業看護職の就業支援
- 5) ナースセンター運営委員会
- 6) ナースセンター事業の広報
- 7) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携
- 8) 看護職への相談支援
- 9) 看護進路相談事業
 - (1) 出前授業
 - (2) ふれあい看護体験
 - (3) 進路相談
- 10) 訪問看護再就業支援事業

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、千葉県から看護協会が「千葉県ナースセンター」として指定を受け事業を実施している。

千葉県の就業看護職員数は、令和4年の従事者届によると62,016人と2年前に比較し894人増加しているが、人口10万対で989.7人（全国45位）と厳しい水準にあり、2025年には約8,800人の看護職が不足すると見込まれている。

ナースセンターを介した再就業者は増加傾向にあるものの、求人施設と求職者の登録促進とマッチングの強化が課題である。特に、60歳以上や非常勤の雇用を希望する求職者が増加傾向にあり、求人施設の開拓が必要である。また、ナースセンターの認知度を高める取り組みを強化し、求人施設・求職者の活用拡大を図ることが必要である。

なお、令和5年10月に「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が改正され、今後、ナースセンターの役割として盛り込まれた看護師等のスキルアップ支援や、看護補助者の職業紹介、デジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システムの運用等については、具体的な進め方を県と協議していく。

成果

- 1) 看護職の定着・確保に係る実態調査
 - (1) 病院看護管理者

287施設に 5/1～5/20の期間で実施、有効回収率 55.4%

(2) 未就業看護職

185名に 5/10～5/31の期間で実施、有効回収率 15.1%

(3) 新人看護職

会員施設612、新卒者を採用した訪問看護ステーション3施設及びフレッシュ
セミナー集合研修参加者へ協力依頼し、9/27～10/11の期間で実施
回答数 645名

(4) 訪問看護ステーション管理者

651ステーションに 6/14～6/28の期間で実施、有効回収率 33.5%

(5) 統括保健師

県1名、市町村54名に 6/14～6/28の期間で実施、有効回収率 85.5%

(6) 再就業者

140名に 5/27～6/17の期間で実施、有効回収率 37.1%

2) 看護職の無料職業紹介

eナースセンター利用者数 11,239名

新規求人数 1,613名

紹介者数 425名

就職者数 363名

3) 届出制度

届出者数 697名 (代行届出数 386名 代行届出率 55.4%)

4) 未就業看護職の就業支援

(1) 看護基礎技術講習会 61回 (参加者 実103名 延152名 就業者62名)

(2) 合同就職説明会 7/12 12/7 参加者47名 就業者15名

(3) 求人情報誌発行 4回 (6月 9月 12月 3月)

(4) 公共職業安定所出張相談会 74回 相談 167名

社会福祉協議会と連携した出張相談 3回 相談 4名

(5) サテライト事業の推進 (再掲)

(6) 就業支援

面接 146名 電話 1,606名 メール 1,797名 オンライン 17名

(7) プラチナナース研修会 7/12 参加者56名

(8) 相談者就業確認 2月

(9) 未就業看護職へのe-ラーニング研修 学研ナーシングサポート 参加者48名
ビジュアルナーシングメソッド 参加者49名

5) ナースセンター運営委員会 12/26 集合開催 委員12名出席

6) ナースセンター事業の広報

「看護ちば」にナースセンターだよりを掲載

149号 (4月) 150号 (7月) 151号 (10月) 152号 (1月)

7) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携

(1) 2024年度ナースセンター事業担当者会議 (日本看護協会主催) 5/21

(2) 2024年度地域に必要な看護職確保推進事業 実施要項説明会
(日本看護協会主催) 6/12

(3) 2024年度ナースセンター事業担当者情報交換会 (日本看護協会主催)

7/10 9/4 11/28 1/15

(4) 2024年度キャリアコンサルティング研修 7/24 8/13

(5) 令和6年度ナースセンター・ハローワーク連携事業調整会議 8/7 2/13

(6) 2025年度地域の実情に応じた看護職確保推進事業 開催要項説明会
(日本看護協会主催) 3/14

8) 看護職への相談支援 3,566名(再掲)

9) 看護進路相談事業

(1) 出前授業 実施校 48校

(小学校 9校 中学校 27校 高等学校 10校 中高一貫校 2校)

参加者 4,768名

(2) ふれあい看護体験 協力施設 83施設 実施施設数(延) 112施設

参加者 625名

(3) 進路相談 29件

10) 訪問看護再就業支援事業

・訪問看護基礎研修会 参加者 33名

集合開催(7/8 10/25 12/10) ハイブリッド開催(9/3)

・訪問看護ステーション見学体験 参加者 6名

・訪問看護就職フェア 10/25 集合開催 参加者10名

1 地域における看護職の定着・確保の推進

1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

実施内容

1. 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保事業

- 1) 「看護の日・看護週間」
- 2) 進路相談（再掲）
- 3) 出前授業（再掲）
- 4) ふれあい看護体験（再掲）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

21世紀の高齢社会を支えていくため、看護の心、ケアの心、助け合いの心を誰もが育むきっかけになるよう、1990年に国は5月12日を「看護の日」、その日を含む日曜日から土曜日までを「看護週間」に定めた。18歳人口が減少し看護人材が不足することから、2030年には18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要がある。そのため2021年から2030年度の「看護の日・看護週間」事業ではメインテーマ“看護の心をみんなのところに”を伝えるとともに、対象を主に若年層として「看護の人材確保」を目的とした事業を実施していく（日本看護協会）。千葉県においても2025年には約8,800人の看護師不足が推計されている。

本協会では、令和3年度より「看護の日・看護週間」を中央行事として位置づけ、地区行事とも連動し、次世代を担う人材の確保に努めている。

県内の学校に通う児童・生徒や保護者、学校の進路相談担当者を対象とした進路相談、また、出前授業やふれあい看護体験により、看護についての知識や理解を深め、看護人材の確保につなげられるよう進めていく。

成果

1) 「看護の日・看護週間」

テーマ 看護の力を未来へつなげよう

中央行事 5/12開催

地区部会行事 5/11～18開催

参加者数 1,342人

「看護の日・看護週間」実行委員会 8/2 1/17

2) 進路相談 29件

3) 出前授業 実施校 48校

（小学校 9校 中学校 27校 高等学校 10校 中高一貫校 2校）

参加者 4,768名

4) ふれあい看護体験 協力施設 83施設 実施回数 112施設

参加者 625名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-1 生涯学習支援

実施内容

1. 生涯学習支援

- 1) 質の高い看護の普及に向けた継続学習のための研修
- 2) ラダーと連携した継続学習のための研修
- 3) 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修
- 4) 看護管理者を対象とした研修
- 5) 資格認定教育

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

日本は、少子超高齢化の進行、人々の価値観の変化等により、健康上のニーズは増大し、多様化・複雑化している。また、デジタル化や持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取り組みの推進、人生100年時代の到来等により、社会全体も様々に変化している。

それに伴い、看護職の活躍する領域や場の多様化が進み、社会から看護職の役割発揮が期待されている。その期待に応えるためには、看護職が各自のライフイベントや価値観に応じて、仕事と生活の調和を図りながら自律的に学ぶことが求められる。

当協会では、令和5年6月に日本看護協会が公表した「看護職の生涯学習ガイドライン」等に鑑みて、個々の看護職が専門職として自己研鑽でき、所属する組織及び地域等のニーズにも対応できるような実践的で活用しやすい研修を検討し、実施していく必要がある。

また、対面研修とWeb配信研修の特徴を活かし、研修内容に合わせて研修方法を選択し、受講しやすく効果が最大限になるように、研修を企画し実施していく。

成果

1. 生涯学習支援

研修開催状況 令和6年度生涯学習研修 実施状況（p93～95）参照

113研修実施 114研修中 2研修中止 1研修追加（県委託）

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-2 看護研究学会の開催

実施内容

1. 看護研究学会の開催

- 1) 第42回千葉県看護研究学会の開催
令和6年11月1日（金）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護研究を行うことは、科学的根拠に基づく看護（EBN）を実践することにつながり、看護の質の向上を目指した活動であり、専門職としての責務でもある。本協会では昭和57年度から研究発表を行う場として看護研究学会を毎年1回開催してきた。しかし、令和元年度以降、演題応募数が減少傾向にある。

臨床現場において質の高い看護を提供するためには、看護研究に取り組み、研究結果として得られた新知見を発表し共有できる看護研究学会の開催意義は大きい。そこで、演題数及び参加者数の増加を図るため、令和4年度からは実践報告を加え、令和5年度からは交流集会を取り入れた。

さらに、看護研究に必須となった倫理審査を受けやすいように、倫理審査委員会を設置し、看護研究に取り組みやすい環境づくりを強化していく。

成果

- 1) 第42回千葉県看護研究学会の開催

テーマ 未来へつなぐ看護の力 ～看護の原点を見つめて～

特別講演

研究発表 17演題 実践報告 18演題 計35演題（23施設）

交流集会 3題

研究支援 2件

参加者 235名（看護職199名 学生36名）

（当日参加 25名）

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発

実施内容

1. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発

1) 専門・認定看護師制度の普及・活用

(1) 専門・認定看護師等の理解と資格取得の推進

(2) 専門・認定看護師・認定看護管理者の登録制の活用推進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成6年に資格認定制度が発足し、診療報酬加算の要件に専門看護師・認定看護師の配置が規定されていることもあり、専門・認定看護師制度の普及は進んでいる。令和5年12月現在の千葉県の登録者数は、専門看護師129名、認定看護師893名となった。令和2年以降の新型コロナウイルス感染症対策においては、感染の分野の専門看護師・認定看護師が専門性を発揮して活動したことで、専門性の高い看護職の担う役割の重要性が認知された。

令和4年12月の日本看護協会認定部の調査によると、認定看護師が所属している病院の割合は、200～299床で65.1%、150～199床で48.0%と令和3年の調査より増加している。しかし、150床未満では17.0%であり、小規模病院における認定看護師の資格取得・就業に課題がある。

今後もチーム医療を推進していく中で看護の専門性を発揮するためには、より専門的で質の高い知識や技術を持ったスペシャリストの育成は不可欠である。組織として資格取得と活動を支援できるよう、活用可能な情報を適宜発信していく必要がある。さらに、スペシャリストナースを目指すきっかけとなる研修を企画し実施していく。

また、研修等で指導・支援可能な県内の専門看護師・認定看護師の状況を把握し、人材登録を推進し、スペシャリストナースの活動及び活躍の場を拡大していく。

成果

1) 専門・認定看護師制度の普及・活用

(1) 生涯学習研修の担当講師

専門・認定看護師の講師 32研修 57名

(2) 講師等人材登録 登録者数 49名

講師等人材登録 活用依頼 2件

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-4 特定行為研修制度の普及・活用

実施内容

1. 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

1) 特定行為研修制度の普及・活用

特定行為研修制度の理解と資格取得の推進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

チーム医療を推進し、看護師がさらに役割を発揮するために、平成27年10月に「特定行為に係る研修制度」が施行され、令和元年度の認定看護師制度改正により、認定看護師教育課程に特定行為研修が組み込まれ、令和3年度から活動を開始している。

日本看護協会の「看護の将来ビジョン」（平成27年）において、特定行為研修制度を通して、高度な看護を実践する能力を持つ看護職の育成を推進するとしており、少子超高齢社会における地域・国民のニーズに積極的に応えるため、制度の活用の推進が求められている。また、チーム医療及び医師の働き方改革を推進する観点からタスク・シフティングを進めるためにも、この制度の普及と活用が重要である。

令和5年に、全国の特定行為研修修了者は6,875人、研修機関は46都道府県で373機関となり、千葉県においては、282人、9機関と増加してきている。質の高い看護の提供体制の構築を目指し、本協会の会員施設及び会員に対して特定行為研修制度の理解促進のために、特定行為研修修了者の活動や指定研修機関の研修生受け入れに関する情報提供等を行う。

成果

1) 特定行為研修制度の普及・活用

看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践 1/27 14名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-5 中小規模病院看護管理者の育成（地域内の施設間連携の推進）

実施内容

1. 中小規模病院看護管理者の育成

- 1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会
- 2) 看護管理者研修（再掲）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年を見据え、医療は病院完結型から地域完結型へシフトチェンジし、地域連携の構築及び強化が重要となっている。また、医療費抑制傾向にある診療報酬改定が続き、看護管理者の経営参画意識の向上が病院維持に不可欠になってきている。300床未満の中小規模病院が約8割を占める千葉県においては、地域医療を担う中小規模病院の看護管理者の果たす役割は大きい。しかし、中小規模病院の看護管理者は、時間や人員に余裕がなく、希望どおりに看護管理者対象の研修等に参加しにくい状況であると推察される。

そこで、中小規模病院の看護管理者が、看護に関連する診療報酬の活用・看護の質向上・看護職員の定着と確保・問題解決技法等について学びやすい研修を企画し、マネジメント力の向上を図れるようにする必要がある。

平成24年から、長期間現場を離れることが難しい看護管理者が参加しやすいように、看護管理の基礎知識を系統的に学べる5日間の研修を開催している。また、平成28年からは、地域特有の課題について情報共有ができ、成長とネットワークづくりの場としても活用できる研修を、各地区で開催している。

成果

1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会

山武地区	10/31	参加者	午前 11名	午後 4名
安房地区	1/30	参加者	午前 10名Web	午後中止
市川地区	2/18	参加者	午前 5名	午後 3名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-6 医療安全対策の推進

実施内容

1. 医療安全対策の推進

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
 - (1) 相談支援（医療事故報告者、施設等への相談支援等）
 - (2) 情報提供（「世界患者安全の日」の啓発等）
- 2) 医療安全の推進
 - (1) 医療安全大会の開催
 - (2) 医療安全推進の普及啓発
- 3) 医療安全管理者の育成
 - (1) 医療安全管理者養成研修会
 - (2) 医療安全担当者中央交流会
 - (3) 医療安全担当者地区交流会
- 4) 関係機関等との連携促進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成11年の患者取違ひ事故以降、国は医療機関における医療安全管理体制の整備を進めてきた。また、日本看護協会では、職能団体として看護職の安全なケア環境をつくるため様々な取り組みを行っている。本会においても、看護の質向上により看護職が安全に安心して働き続けられる環境づくりを目指し、医療安全対策を推進してきた。

平成17年より「医療安全推進週間」に合わせて、多職種参加の医療安全大会の開催や医療安全に関する標語を募集しポスターにして配布する等、県内の医療従事者の、医療安全への意識の向上と普及啓発を図ってきた。令和4年からは、医療安全に関するチーム活動を募集し、多職種協働の推進も強化している。

さらに、平成31年の世界保健機関の総会において、患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるため、9月17日が「世界患者安全の日」と制定された。「医療安全推進週間」とともに、医療安全文化の醸成に向けた取り組みを継続していく。

成果

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
 - (2) 情報提供（「世界患者安全の日」の啓発等）
 - ホームページへの掲載
- 2) 医療安全の推進
 - (1) 医療安全大会の開催 11/24 参加者191名
 - テーマ Patient (and family) engagement 患者は医療チームの一員
 - (2) 医療安全推進の普及啓発
 - 医療安全に関する標語 応募総数1,135作品

医療安全に関するチーム活動 応募総数4施設

3) 医療安全管理者の育成

(2) 医療安全担当者中央交流会 9/14 参加者 78名

(3) 医療安全担当者地区交流会 参加者 計157名 (看護師 101名 看護職以外 56名)

東葛地区 10/4 参加者 54名 (看護職 31名 看護職以外 23名)

長夷地区 10/10 参加者 54名 (看護職 34名 看護職以外 20名)

千葉地区 1/21 参加者 49名 (看護職 36名 看護職以外 13名)

3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

3-1 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進

実施内容

1. 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進

- 1) 4 職能委員長会議の開催
- 2) 地域連携フォーラムの開催
- 3) 地域包括ケア研修の開催

2. 地域連携強化と多職種連携会議への参画

- 1) 地域包括関連会議（地域医療構想調整会議、地域ケア会議等）への参画
- 2) 多職種連携会議への参画

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

少子超高齢多死社会においては、医療は病院完結型から地域完結型へと移行し、住み慣れた地域社会で暮らす医療依存度の高い在宅療養者（児）や障がい者（児）が増加し、全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築が求められている。地域において疾病・障がい・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援する看護職が協働して各職能の機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。看護職がその機能を発揮するためには、自治体で策定される医療計画・地域医療構想、介護保険事業計画等の策定会議への参画、関係機関・団体との連携体制の構築、看一看連携や多職種とのネットワークづくり（地域連携）が必要である。会議等において、看護の視点で地域の課題を検討し、実情に応じた課題解決ができるように働きかける。

成果

1. 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進

- 1) 4 職能委員長会議の開催
4 職能委員長会議 9/10 3/6 4 職能委員会合同会議 5/20
- 2) 地域連携フォーラムの開催 11/16 Web 参加者17名

3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

3-2 訪問看護・看多機の推進

実施内容

1. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催
- 2) 訪問看護師育成のための研修等
- 3) 新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用拡大

2. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討

- 1) 訪問看護推進協議会部会による協議
- 2) 関係団体との連携

3. 看多機に関する取り組みの検討

- 1) 訪問看護推進協議会、関連機関等における情報収集

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域においては、疾病・障がい・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援する看護職がその機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。

地域包括ケアの担い手となる訪問看護師数について、本県は全国において下位であることや小規模訪問看護ステーションが県内5割を占めていることから、訪問看護師の確保・育成を図る必要がある。その際には、新卒者等採用に向けた育成のため新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用の拡大を図る。さらに、医療依存度の高い人、退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支える看多機（看護小規模多機能型居宅介護）の推進を図ることを検討する。

また、訪問看護提供体制の推進には、多職種・多機関の連携が重要であり、県内全体のさらなる推進を図ることが必要である。

成果

1. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催 7/31 ハイブリッド 3/12 Web
- 2) 訪問看護師育成のための研修等
 - ・訪問看護師指導者育成研修会 9/21 10/5 集合開催 参加者31名
 - ・訪問看護師養成講習会（生涯学習支援再掲） 参加者7名
eラーニング 講義（6/5 集合 9/2 Web 2/18 集合） 実習5日間
 - ・学生向け訪問看護ガイダンス 開催希望12校 実施12校

3) 新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用拡大

- ・プログラム支援 支援修了1名（新卒2年目）
- ・新人育成交流会 8/17 集合開催 参加者 新人2名 管理者等5名

3. 看多機に関する取り組みの検討

1) 訪問看護推進協議会、関連機関等における情報収集

- ・県内看多機事業所のリスト管理
- ・ホームページへ看多機情報を掲載
- ・千葉県看多機連絡協議会主催の研修会参加 2/8

3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

3-3 地域包括ケアを実現するための人材確保(保健師、助産師、訪問看護師等)

実施内容

1. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討(再掲)

2. 看護職の人材確保と活躍の推進

1) 地方自治体への要望

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

出生前から人生の最終段階に至るまでの全世代、医療機関や地域などあらゆる場所を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進のためにも人材の確保と関係機関の連携が重要となる。

訪問看護ステーションの看護職員数(常勤換算)は、人口10万人当たり全国43位にとどまっている現状から、人材確保、経営支援、訪問看護の質向上が課題となっている。日本看護協会が提案している訪問看護総合支援センターは、訪問看護に関するさまざまな課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点であり、協会においても訪問看護総合支援センター設置に向けた検討を継続する。

また、令和5年の県内保健師数は2,461人(自治体勤務1,580人)、人口10万対39.3、助産師数は1,603人、人口10万対25.6(令和4年末)で全国平均よりも低い現状にある。地域包括ケアシステムを推進するためには、地域包括の中心的役割を担う保健師・訪問看護師の増員が求められる。さらに、産科医の減少による院内助産の推進や子育て世代包括支援センターにおける助産師の活躍が求められている。これら地域包括を実現するための人材確保と活躍の推進について、自治体へ要望を継続していく。

成果

1. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討 終了

訪問看護推進協議会(再掲)

2. 看護職の人材確保と活躍の推進

1) 地方自治体への要望

県への要望提出 8/2

会員要望数 106件(36名)

4 地域における健康危機管理体制の整備

4-1 大規模災害発生時の対応体制の強化

実施内容

1. 大規模災害発生時の対応体制の整備

- 1) 役割の明確化と連携強化
- 2) 千葉県保健医療調整会議への参加による関係機関との連携・情報共有
- 3) 災害支援ネットワークの構築と推進
- 4) 災害に備えた体制の整備
- 5) 災害支援ナースの育成

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年の災害は広範囲に甚大な被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。令和6年4月より災害支援ナースは、改正医療法に基づき、厚生労働省が指定した研修の修了者を「災害・感染症医療従事者」として登録することとなった。

求められる支援に迅速に対応するためには、災害支援ナースの増員が急務である。

また、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、千葉県保健医療調整会議への看護職の参加が必須となる。必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である地区部会や会員施設・会員からの情報・ニーズの把握など、県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

成果

1) 役割の明確化と連携強化

災害支援ナース派遣調整業務委託に係る県医療整備課との会議

5/22 7/16 9/13 12/12

4) 災害に備えた体制の整備

九都県市合同防災訓練千葉市会場訓練への参加 8/28 千葉地区部会 2名

九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練（いすみ市）への参加 10/20

長夷地区部会 4名

5) 災害支援ナースの育成

災害支援ナース養成研修（再掲）

4 地域における健康危機管理体制の強化

4-2 新興感染症等パンデミックへの対応体制の強化

実施内容

1. 新興感染症等パンデミックへの対応体制の整備

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化
- 2) 千葉県感染症対策連携協議会への参加による関係機関との連携・情報共有
- 3) 支援体制の整備
- 4) 感染症対策を担う看護職の育成

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症による感染拡大は、世界的な問題であり、医療・看護の現場においては、患者の受け入れや自施設の感染者の発生など、収束の予測がつかない中で長期的に広範囲に及ぶ対策に、看護職の専門性を発揮し続けなければならない。感染症対策を安全・安心に継続するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、協定締結と千葉県感染症対策連携協議会への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である会員施設・会員からの情報・ニーズの把握により県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

さらには、感染症対策を担う看護職を育成し、現場の安全と安心を守る支援も重要となる。

成果

- 4) 感染症対策を担う看護職の育成
感染管理研修（再掲）

4 地域における健康危機管理体制の整備

4-3 協会における事業継続計画（BCP）の策定

実施内容

1. 協会における事業継続計画（BCP）の策定

1) 事業継続計画（BCP）の検討

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年、広範囲に甚大な自然災害による被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。さらに、長期にわたる感染症の拡大による健康危機に対し、看護職が求められる支援に迅速に対応し、公益法人としての使命を果たすためには、事業継続計画（BCP）を作成し、県民の健康な生活の実現に寄与するという社会的な責任を果たす必要がある。

成果

1) 事業継続計画（BCP）の検討

- ・日本看護協会の業務継続計画（BCP）策定に関する情報収集を行った。

5 組織基盤の強化

5-1 会員の定着・確保・拡大

実施内容

1. 会員増の推進

- 1) 新規・再入会の促進
- 2) 継続会員への勧奨
- 3) 情報発信の強化、広報の充実
- 4) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
- 5) 新たな会員獲得のための方策検討

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年、2040年を展望する課題への的確な対応を進めていくため、協会活動の基盤となる組織力の強化が不可欠である。（入会率50%以上）

職能団体の基盤となる会員の定着・確保・拡大に向け、できるだけ多くの看護職の結集を図ることが重要である。

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。実現のためには、看護政策を提案し、実行できる組織として、組織基盤の強化を図り、成長していく必要がある。

成果

1) 新規・再入会の促進

会員数 27,791名（うち新規入会 1,880名） 入会率 44.8%

2) 継続会員への勧奨

入会後のご案内『入会されたあなたへ～information～』等の送付 1,880名

4) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内

協会案内 42校 2,668部

5) 新たな会員獲得のための方策検討

東京ディズニーリゾート®・コーポレートプログラム利用券

延べ応募者数 854名 当選者数 200名 利用者数 156名（78.0%）

S-QUE新人看護職員研修（全会員向け） 40名

5 組織基盤の強化

5-2 看護政策推進力の強化

実施内容

1. 看護政策推進力の強化

- 1) 地区部会の活動・体制の強化
- 2) 職能間の連携強化
- 3) 看護協会の認知度の向上

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

組織基盤は、重点政策の着実かつ円滑な実施の土台となるものであり、その充実と強化に取り組む必要がある。

本協会は、保健師・助産師・看護師・准看護師のすべての職能が加入できる唯一の職能団体である。それぞれの職能の専門性を生かすとともに、職能間の円滑な連携・調整のもと、社会の状況、医療・介護の現場の課題、国の政策・施策の動向を踏まえ事業を推進してきた。引き続き着実に政策推進の強化に取り組む必要がある。

成果

1) 地区部会の活動・体制の強化

役員会67回（千葉4 市原6 船橋5 市川6 松戸6 東葛4 印旛5 利根8 山武6
長夷4 君津5 安房8）

連絡会23回（千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛 印旛2 利根2 山武2
長夷2 君津2 安房2）

研修会22回（千葉2 市原2 船橋2 市川 松戸2 東葛2 印旛2 利根2 山武2
長夷2 君津2 安房）

まちの保健室 常設型18回（千葉 船橋2 市川3 松戸 東葛2 印旛2 利根3
長夷3 君津）

イベント型8回（千葉 市原 船橋 印旛 山武2 君津 安房）

会計担当者会議 6/13

地区部会長会 8/2 1/17

2) 職能間の連携強化

4 職能委員長会議 （再掲）

3) 看護協会の認知度の向上

県民向け広報誌「げんき」創刊 25,000部

【重点事業】

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

●事業計画は、定款第4条の7つの事業に沿って掲載

- I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業
- II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による、看護師等の人材確保・定着に関する事業
- III 訪問看護の推進に関する事業
- IV 県民への健康・福祉の増進に関する事業
- V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業
- VI 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業
- VII その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

重点事業：強調、新規事業：太ゴシック

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

【目的】

県民に安全で安心な看護サービスを提供するため、職能団体の責任において、専門職としての生涯学習の機会を提供し看護職の資質の向上を図る。

事業計画	実 績																																																								
1. 生涯学習支援 114研修 重点事業2-1 【目標】看護専門職として社会のニーズや医療の進歩に対応できる知識・技術を高め、より質の高い看護実践能力を習得できるように支援する。	1. 生涯学習支援（114研修中2研修中止＋追加1研修 合計113研修） 令和6年度生涯学習研修 実施状況（p93～95）参照 研修実施状況 <table><tr><th></th><th>定員(名)</th><th>受講者数(名)</th><th>受講率(%)</th></tr><tr><td>元年度</td><td>8,016</td><td>6,600</td><td>82.3</td></tr><tr><td>2年度</td><td>2,526</td><td>1,204</td><td>47.7</td></tr><tr><td>3年度</td><td>10,625</td><td>3,633</td><td>34.2</td></tr><tr><td>4年度</td><td>10,435</td><td>4,564</td><td>43.7</td></tr><tr><td>5年度</td><td>8,855</td><td>4,966</td><td>56.1</td></tr><tr><td>6年度</td><td>8,457</td><td>6,134</td><td>72.5</td></tr></table> 研修方法の実施状況 <table><tr><th></th><th>ライブ</th><th>ライブ /対面</th><th>オンデ マンド /対面</th><th>オンデ マンド /ライブ</th><th>対面</th><th>ハイブ リッド</th></tr><tr><td>4年度</td><td>93</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td><td>13</td><td>－</td></tr><tr><td>5年度</td><td>70</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>29</td><td>－</td></tr><tr><td>6年度</td><td>42</td><td>8</td><td>15</td><td>1</td><td>40</td><td>7</td></tr></table>		定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	元年度	8,016	6,600	82.3	2年度	2,526	1,204	47.7	3年度	10,625	3,633	34.2	4年度	10,435	4,564	43.7	5年度	8,855	4,966	56.1	6年度	8,457	6,134	72.5		ライブ	ライブ /対面	オンデ マンド /対面	オンデ マンド /ライブ	対面	ハイブ リッド	4年度	93	5	1	1	13	－	5年度	70	5	6	1	29	－	6年度	42	8	15	1	40	7
	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																																																						
元年度	8,016	6,600	82.3																																																						
2年度	2,526	1,204	47.7																																																						
3年度	10,625	3,633	34.2																																																						
4年度	10,435	4,564	43.7																																																						
5年度	8,855	4,966	56.1																																																						
6年度	8,457	6,134	72.5																																																						
	ライブ	ライブ /対面	オンデ マンド /対面	オンデ マンド /ライブ	対面	ハイブ リッド																																																			
4年度	93	5	1	1	13	－																																																			
5年度	70	5	6	1	29	－																																																			
6年度	42	8	15	1	40	7																																																			

分類1：質の高い看護の普及に向けた生涯学習のための
研修 32研修

・安全と安心を守る感染症対策の基本

・感染管理研修(基礎編2日・感染対策強化実践編2日)

分類1：質の高い看護の普及に向けた生涯学習のための研修
(32研修中 31研修終了・1研修中止)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
安全と安心を守る感染症対策の基本	100	68	62	62.0
(ライブ)	(50)	(41)	(38)	(76.0)
(対 面)	(50)	(27)	(24)	(48.0)

「安全と安心を守る感染症対策」アンケート

n=58 (ライブn=36 対面n=22) 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる (ライブ)	24(66.7)	11(30.6)	0	0
(対 面)	15(68.2)	7(31.8)	0	0
期待に沿っている (ライブ)	20(55.6)	15(41.7)	0	0
(対 面)	15(68.2)	7(31.8)	0	0

アンケート 参加理由の記述

- ・感染委員になり、感染についてもう一度学びたかった。
- ・院内の感染委員会に所属しており、上司に参加を提案されたため。
- ・院内でICT担当をしていて、もっと感染管理について知識を深めたかった。
- ・感染対策リンクナースのため、役立てたいと思ったため。

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
感染管理研修	50	68	51	102.0

「感染管理研修」(基礎編) アンケート

n=35 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	26(74.3)	8(22.9)	0	0
期待に沿っている	22(62.9)	12(34.3)	0	0

「感染管理研修」(実践編) アンケート

n=36 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	16(44.4)	14(26.4)	0	0
期待に沿っている	16(44.4)	19(52.7)	0	0

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・グループワークや演習があり、わかりやすかった。他の病院の課題や活動報告がとても参考になった。
- ・他施設の状況や実践した結果、周知する方法など勉強になった。
- ・他の施設の課題や取り組みから、自施設へ持ち帰ることができたこと、他のグループへのアドバイスが共有できてよかった。
- ・すぐに実践できる内容でアクティブラーニング形式ですごく楽しく学べた。

- ・AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニング
BLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース
- ・AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニング
ACLS（二次救命処置） HeartCode ACLSコース・
プロバイダーコース
- ・看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践 他

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	15	15	15	100.0
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	15	10	10	66.7
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	15	12	12	80.0
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	15	3	3	20.0
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	12	12	12	100.0
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	12	12	12	100.0
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	12	5	5	41.7
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	12	2	2	16.7
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	12	12	12	100.0
AHA心肺蘇生法トレーニングBLSコース	12	12	12	100.0
AHA心肺蘇生法トレーニングACLSコース	15	14	14	93.3
AHA心肺蘇生法トレーニングACLSコース	15	2	0	中止
AHA心肺蘇生法トレーニングACLS プロバイダーコース	15	2	2	13.3
合 計	177	113	111	62.7

分類2：ラダーと連動した生涯学習のための研修

64研修

(1) ニーズをとらえる力

・フィジカルアセスメント研修

分類2：ラダーと連動した生涯学習のための研修

(64研修中 63研修終了・1研修中止)

(1) ニーズをとらえる力（5研修中5研修終了）

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名) (R5)	受講率 (%)
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう) (循環・意識障害)	100	87	84 (84)	84.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう) (呼吸・腹部症状)	100	92	83 (79)	83.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう) (骨筋・神経)	100	34	34 (58)	34.0

「ハイブリッド研修 受講数内訳」

フィジカルアセスメント(循環・意識障害)	ライブ	63	対面	21
フィジカルアセスメント(呼吸・腹部症状)	ライブ	60	対面	23
フィジカルアセスメント(骨筋・神経)	ライブ	25	対面	9

「フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 循環・意識障害」アンケート

n=66（ライブn=50 対面n=16）名（%）

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる（ライブ）	30(60.0)	18(36.0)	0	0
（対 面）	13(81.3)	3(18.7)	0	0
期待に沿っている（ライブ）	22(44.0)	26(52.0)	1(2.0)	0
（対 面）	12(75.0)	4(25.0)	0	0

「フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 呼吸・腹部症状」アンケート

n=53（ライブn=37 対面n=16）名（%）

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる（ライブ）	19(51.4)	18(48.6)	0	0
（対 面）	12(75.0)	4(25.0)	0	0
期待に沿っている（ライブ）	13(35.1)	22(59.5)	1(2.7)	0
（対 面）	10(62.5)	5(31.3)	0	0

「フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 骨筋・神経」アンケート

n=23 (ライブn=18 対面n=5) 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる (ライブ)	8(44.4)	8(44.4)	0	0
(対 面)	3(60.0)	2(40.0)	0	0
期待に沿っている (ライブ)	6(33.3)	10(55.6)	0	0
(対 面)	2(40.0)	3(60.0)	0	0

(2) ケアする力

- ・災害支援ナース養成研修

(2) ケアする力 (7研修 7研修終了)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
災害支援ナース養成研修 1 回目	70	64	60	85.7
災害支援ナース養成研修 2 回目	70	88	71	100.0

「災害支援ナース養成研修 1 回目」アンケート n=42 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	21(50.0)	20(47.6)	0	0
期待に沿っている	12(28.6)	27(64.3)	1(2.4)	0

「災害支援ナース養成研修 2 回目」アンケート n=54 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	36(66.7)	17(31.5)	0	0
期待に沿っている	26(48.1)	26(48.1)	1(1.9)	0

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・実際に現地に出向いた講師から具体的な話を聞くことができた。
- ・繰り返し講習を受けることで身につくと思う。今後も継続的に参加したい。
- ・今後の支援につながる研修だった。

(3) 協働する力

- ・成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)

(3) 協働する力 (9研修 9研修終了)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)	100	68	60	60.0

「成長を支えるためのレジリエンスとセルフ・コンパッション」アンケート

n=46 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	21(45.7)	24(52.2)	1(2.2)	0
期待に沿っている	24(52.2)	21(45.6)	1(2.2)	0

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・普段からずっと抱えていた疑問が解決できそうです。
- ・自分の弱さを克服するための一歩を踏み出せそうと感じました。
- ・とてもわかりやすい内容で、今後の自分の看護に生かしていきたい。

(4) 意思決定を支える力

(4) 意思決定を支える力 (3研修 3研修終了)

(5) 看護共通

- ・フレッシュセミナー（春・秋）
- ・レポートや小論文の記述力を高めるために
- ・2年目看護師として自己の成長をみつめて

他

(5) 看護共通（40研修中 39研修終了 1研修中止）

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
フレッシュセミナー(春)(秋)	120	120	117	97.5
フレッシュセミナー(春)(秋)(ライブ)	200	161	157	78.9
フレッシュセミナー(春)(秋)	120	130	116	96.7
フレッシュセミナー(春)(秋)(ライブ)	200	130	128	64.0
フレッシュセミナー(春)(秋)	120	120	120	100.0
フレッシュセミナー(春)(秋)	120	120	119	99.2
フレッシュセミナー(春)(秋)(ライブ)	200	127	127	63.5
合 計	1,080	908	884	81.9

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
レポートや小論文の記述力を高めるために	50	23	23	46.0

「レポートや小論文の記述力を高めるために」アンケート n=16 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	9(56.0)	6(37.0)	0	0
期待に沿っている	12(75.0)	2(18.0)	0	0

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・内容が具体的で今後にとっても活かせる内容でした。
- ・ルールを理解しても、実際にレポート作成時はとても難しかったです。ありがとうございました。
- ・頭を使い考える研修で、受け身ではなくアウトプットが多く、受講して楽しかった。

研修名	定員 (名)	研修 方法	受講数 (名)	受講率 (%)
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	対面	113	94.2
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	対面	79	65.8
2年目看護師として自己の成長をみつめて	200	ライブ	59	29.5
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	対面	77	64.2
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	対面	62	51.7
2年目看護師として自己の成長をみつめて	200	ライブ	65	32.5
合 計	880		455	51.7

「2年目看護師としての自己の成長をみつめて」アンケート 研修についての感想の記述

- ・グループワークを通して、自分にはない意見や考え方を知ることができた。
- ・他の病院で働く同じ2年目の看護師と、グループワークを通して貴重な意見の交換ができてよかった。

分類3：人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修 5研修

- ・人を育てる臨地実習
- ・実地指導者研修
- ・教育担当者研修

他

分類3：人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修

(5研修中5研修終了)

分類4：看護管理者を対象とした研修 8研修

- ・看護管理者ビギナー研修修了者フォローアップ
- ・育休・介護休暇等取得者の復職を支援するための研修

他

分類4：看護管理者を対象とした研修

(8研修中8研修終了)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
看護管理者ビギナー研修修了者フォローアップ	30	51	44	146.7

「看護管理者ビギナー研修修了者フォローアップ」アンケート

n=34 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	24(70.6)	9(26.5)	1(2.9)	0
期待に沿っている	22(64.7)	11(32.4)	1(2.9)	0

アンケート 研修についての感想の記述

- ・組織としての自身のあり方、師長との協働、より良いチーム作りについて、今後活かしていきたいと思います。
 - ・日々の忙しきで忘れていた軸に戻ることができた。
 - ・同じ立場の方や違う施設のいろいろな視点等が学べて今後に生かせる内容でした。
- 改めて「リーダーとは」「管理とは」を学べる内容でした。

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
育休・介護休暇等取得者の復職を支援するための研修	50	16	14	28.0

「育休・介護休暇等取得者の復職を支援するための研修」アンケート

n=10 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	3(30.0)	7(70.0)	0	0
期待に沿っている	2(20.0)	7(70.0)	1(10.0)	0

<期待に沿っていない理由>

- ・男性の育児休業が主で看護休暇や女性の育児休業からの復帰支援に関する内容を期待していた。

分類5：資格認定教育 5 研修

- ・訪問看護師養成講習会
- ・喀痰吸引指導者養成講習会
- ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 2 回
- ・認定看護管理者教育課程 セカンドレベル

他

分類5：資格認定教育 (5 研修中 5 研修終了)

2. 千葉県看護研究学会 重点事業2-2

1) 第42回千葉県看護研究学会

- ・開催日 令和6年11月1日(金)
- ・場 所 TKP東京ベイ幕張ホール

2. 千葉県看護研究学会

1) 第42回千葉県看護研究学会

- 開催日 令和6年11月1日(金)
- 場 所 TKP東京ベイ幕張ホール
- 特別講演 「未来へつなぐ看護の力～看護の原点～」
講師 ナイチンゲール看護研究所 金井 一薫氏
- 演 題 数 35題(研究発表17題 実践報告18題) 23施設から申込
(R5年度 研究発表22題 実践報告13題 20施設から申込)
- 交流集会 3題
- 研究支援 2件
- 参加者数 235名

アンケート 学会は有意義だったか

n=107 名 (%)

大変有意義だった	ある程度有意義だった	あまり有意義でなかった
53(49.5)	51(47.7)	3(2.8)

3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進 重点事業2-3 1) 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活用 (1) 講師等人材登録事業の運用 (2) 生涯学習研修における担当講師 4. 特定行為研修制度の普及 重点事業2-4 1) 特定行為研修制度に関する研修 ・看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践（生涯学習） 5. 中小規模病院看護管理者の育成 重点事業2-5 【目的】臨床現場を離れて研修を受けにくい状況にある中小規模病院の看護管理者が、院内で期待される本来の役割を果たすため、看護管理能力の向上を目指し、知識等を習得し、地域に共通する課題の解決に向けた方向性を見出す。 1) 中小規模病院看護管理者の研修・情報交換会 6. 委員会の開催 1) 教育委員会 6回 2) 看護研究委員会 6回 3) 看護研究倫理審査委員会 随時 4) 認定看護管理者教育課程運営委員会 4回 5) 千葉県看護教員養成講習会運営委員会 1回	アンケート 特別講演について ・看護師にとって非常に興味深く、重要な原点を考える時間になりました。 ・今後の看護師人生に新たな生きがいを見出せる内容でした。 ・学生の頃、就職したばかりの頃「看護とは何か」と考えていたことを思い出せた。 アンケート 交流集会について ・同じ問題を抱える方々の意見を聞くことができて良かった。 ・在宅ケアをしている人の交流の意義や今後の展望など大変興味深く聴講できた。 ・交流集会での学びや収穫が大きかった。 アンケート 学会全体について ・他施設の看護を知り、ベンチマークする機会となり、良い刺激になった。 ・この学会は経験年数が短い看護師が「看護師になって初めて外で発表する場」だと感じ、そのような場が必要だと感じた。 3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進 1) 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の普及・活用 (1) 講師等人材登録 登録者数 49名（10施設） 派遣依頼2件 (2) 生涯学習研修における担当講師 専門・認定看護師の講師 32研修 57名 4. 特定行為研修制度の普及 1) 特定行為研修制度に関する研修 ・看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践（再掲） 5. 中小規模病院看護管理者の育成 1) 中小規模病院看護管理者の研修・情報交換会 対象 講義（午前）県内中小規模病院（300床未満）看護部門のトップマネジャー（看護職）及び看護管理者 情報交換会（午後）県内中小規模病院（300床未満）看護部門のトップマネジャー（看護職） 内容 講義「看護部にできる経営参画」 情報交換会 「各地区での話し合い内容」 参加者 山武地区 10/31 講義11名（4施設）情報交換会4名 安房地区 1/30 講義10名（7施設）Web 情報交換中止 市川地区 2/18 講義5名（3施設）情報交換会3名 アンケート 3地区すべて、講義が参考になった100.0%、情報交換会が有意義だった100.0% 6. 委員会の開催 1) 教育委員会 8/20 10/8 11/7 12/6 1/28 2/18 2) 看護研究委員会 8/1 9/13 10/24 11/21 12/4 2/20 3) 看護研究倫理審査委員会 10/21 承認1件 4) 認定看護管理者教育課程運営委員会 4/22 8/29 1/23 3/10 5) 千葉県看護教員養成講習会運営委員会 11/5 3/17
---	---

7. 医療安全対策の推進 **重点事業2-6**

【目的】医療関係者の医療安全対策に関する意識の向上と普及啓発を図り、医療安全管理者の育成とスキルアップの支援、関係機関との連携による医療安全対策ネットワーク構築を促進する。また、県内の医療機関へ医療安全の周知を行うとともに、医療事故調査制度に関する情報を提供していくことで、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。

1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供

(1) 相談支援

- ・医療事故報告者、施設等への相談支援
- ・医療事故調査に関する外部委員等、支援者紹介

(2) 情報提供

- ・顧問弁護士による医療安全に係る情報提供「看護ちば」への記事掲載
- ・ホームページ・機関誌等で最新情報の提供
- ・看護職賠償責任保険制度の案内
- ・「世界患者安全の日」9/17の啓発

2) 医療安全の推進

(1) 医療安全大会の開催

- ・開催日 令和6年11月24日（日）
- ・場 所 ホテルポートプラザちば

7. 医療安全対策の推進

1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供

(1) 相談支援

- ・医療事故報告者、施設等への相談支援 1件
- ・医療事故調査に関する外部委員等、支援者紹介 1件

(2) 情報提供

- ・顧問弁護士による医療安全に係る情報提供「看護ちば」への記事掲載
- ・ホームページ・機関誌等で最新情報の提供
- ・看護職賠償責任保険制度の案内
- ・「世界患者安全の日」9/17の啓発
ホームページへの掲載
医療安全担当者中央交流会のテーマに活用

2) 医療安全の推進

(1) 医療安全大会の開催

- 開催日 11/24
- 場 所 ホテルポートプラザちば
- 参加者 191名（看護職126名 66% 看護補助者13名 6.8%
他職種18名 9.4% 学生34名 17.8%）
- テーマ 患者は医療チームの一員
- 内 容 特別講演
「21世紀のキーワード『人間(患者)中心性』を理解する」
- 講 師 千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部 特任教授
相馬 孝博 氏
- 鼎 談 「患者は医療チームの一員」

アンケート（回収率48%） n = 91 名（%）

アンケート項目	大変なった	なった	あまり	無回答
特別講演は参考になりましたか	60(65.9)	26(28.6)	1(1.1)	4(4.4)
鼎談は参考になりましたか	50(54.9)	26(28.6)	1(1.1)	14(15.4)

参加者の意見

- ・患者を尊重した意思を確認することが医療の安全、安心な治療、看護に求められていることを理解した。
- ・各施設の取り組みが活動のヒントになり、参加して良かった。特別講演も自施設の課題にマッチしていて有意義でした。
- ・希望や価値観を引き出す役割として、再認識しました。

医療安全大会参加者数の推移

回 数(回)	1	3	8	11	12	14	15	19	20
開催年度	17年	19年	24年	27年	28年	30年	元年	5年	6年
看護職(名)	—	—	375	439	501	464	344	235	126
他職種(名)	—	—	52	87	129	92	64	39	65
合計(名)	495	564	427	526	630	556	408	274	191

(2) 医療安全推進の普及啓発

- ・医療安全に関する標語の募集
- ・医療安全に関するチーム活動の募集
- ・ポスター等による普及啓発

(2) 医療安全推進の普及啓発

- ・医療安全に関する標語の募集

		6 年度	5 年度
応募数		1,135	1,422
内訳	看護職	898	953
	他職種	237	469
応募施設数		75	78

最優秀賞 「多職種と患者と一緒に防ぐ事故」

優秀賞 「確認はみんなでできる安全対策」

- ・ポスター等による普及啓発

発送 病院・診療所等 359施設

自治体・保健センター等公的機関等 73施設

その他会員施設・養成所等 288施設

他団体・企業等 20施設

- ・医療安全に関するチーム活動の募集

応募数 4 活動（病院 4 施設）

最優秀賞 「気づきを促す、多職種連携の事例検討会」

優秀賞 「各業務プロセスの見直しと効果的なダブルチェック」

医療安全大会での発表、協会ホームページでの公表

アンケート（回収率48%） n=91 名（%）

アンケート項目	大変なった	なった	あまり	無回答
最優秀チーム活動の発表は参考になりましたか	30(33)	47(51.6)	7(7.7)	7(7.7)

3) 医療安全管理者の育成

- (1) 医療安全管理者養成研修会（生涯学習）
- (2) 医療安全担当者中央交流会（1回）
- (3) 医療安全担当者地区交流会（3回）

3) 医療安全管理者の育成

- (1) 医療安全管理者養成研修会（生涯学習再掲）

- (2) 医療安全担当者中央交流会 9/14

申込者 78名（5年度113名）

参加者 78名（5年度91名）

- (3) 医療安全担当者地区交流会

東葛地区 10/4 54名

長夷地区 10/10 54名

千葉地区 1/21 49名 合計157名

参加者職種内訳

職種	看護師	保健師	看護補助者	臨床工学技士	理学療法士	作業療法士
参加人数(名)	100	1	3	5	11	5
職種	薬剤師	診療放射線技師	栄養士	介護職	MSW	事務職
参加人数(名)	10	5	4	6	1	6

（5年度 4地区合計111名 看護職77名 他職種27名 未記入7名）

アンケート（回収率93%） n=146 名（%）

アンケート項目	強く思う	やや思う	あまり	無回答
現場で活用できるか	77(52.7)	67(45.9)	1(0.7)	1(0.7)

感想

- ・チームワークやコミュニケーションの重要性を学んだ
- ・医療安全や職場環境の改善になると感じた
- ・メンバー間での意識改革や情報共有を進め、チーム力を高めることが大事だと感じた

4) 関係機関等との連携促進	4) 関係機関等との連携促進 研修開催情報の共有 1件
5) 医療安全委員会の開催 6回	5) 医療安全委員会の開催 9/4 10/9 11/6 12/11 1/8 2/5
8. 図書室の運営管理	8. 図書室の運営管理
1) 図書室の管理運営	1) 図書室の管理運営
2) 資料・文献検索・レファレンス・メールによる 文献複写等の相談 等	2) 資料・文献検索・レファレンス・メールによる文献複写等の相談 等

II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による、看護師等の人材確保・定着に関する事業

【目的】

ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の定着・確保を図る。

事業計画	実績
1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の推進 重点事業1-1 【目的】看護職が働き続けられる職場づくりを目指して、看護職の定着・確保を図る。 1) 看護職定着・確保推進計画の推進 2) 看護職定着確保対策協議会の開催 1回 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発 4) 労働環境改善委員会の開催 6回	1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の推進 1) 看護職定着・確保推進計画の推進 2) 看護職定着確保対策協議会の開催 3/3 3) 看護職定着・確保対策事業の普及啓発 (1) ホームページ、「看護ちば」等による広報 (2) 各種協会事業を通じた普及 4) 労働環境改善委員会の開催 8/6 9/5 11/7 12/5 1/16 2/6
2. 看護職の労働環境の向上 重点事業1-2 【目的】県内に働く看護職の定着を図るとともに、専門性を発揮しヘルシーワークプレイスを踏まえ働き続けられるための環境づくりを推進する。 1) ヘルシーワークプレイス推進事業 (1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 (2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間(10/1～10/7)」の推進 ・ヘルシーワークプレイス交流会の開催 (3) ヘルシーワークプレイス研修(生涯学習再掲) (4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化 ・電話、メール相談 ・施設支援	2. 看護職の労働環境の向上 1) ヘルシーワークプレイス推進事業 (1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 応募施設7施設 (2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進 10/1～10/7 ・ヘルシーワークプレイス交流会の開催 10/3 会場 看護会館 大研修室 講義1「看護管理者が知っておくべき労務管理の基礎とハラスメント」 講義2「ハラスメントに注意した部下対応とは」 参加者 101名(看護部長8.9% 看護副部長12.8% 看護師60.3% その他17.8%) アンケート結果 法律を理解し、知識として身につけ、今後の対応に活かしていきたい。労務管理の正しい知識を学ぶことができた。 ・ホームページ及び「看護ちば」による広報 (3) ヘルシーワークプレイス研修(生涯学習再掲) (4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化 ・電話、メール相談 延52名 相談方法 来所3件 電話37件 メール12件 相談者属性 看護管理者 延5名 個人 延47名 相談内容別内訳(延件数)

看護管理者（延8件）

相談内容	件数	相談内容	件数
ハラスメント	2	就業規則	1
管理体制づくり	1	教育体制	2
タスクシフト	1	管理日誌	1
合 計			8

個人（延71件）

相談内容	件数	相談内容	件数
残業	1	差別や偏見	6
勤務時間	4	健康不安	3
休日・有給休暇	6	ハラスメント・いじめ	20
夜勤	3	新型コロナ関係	1
賃金	5	教育体制	4
人間関係	2	転職、就活	7
雇用条件	1	看護観のギャップ	1
承認不足	1	妊活と仕事の両立	1
合 計			71

- ・施設支援 32件（5年度45件）
- 支援方法 訪問面談29件 電話3件
- 施設種別 病院16件 看護系学校10件
- 訪問看護ステーション3件
- 福祉・介護施設2件 診療所1件

(5) 看護職の処遇改善に関する実態把握

(5) 看護職の処遇改善に関する実態把握

- ・看護職定着確保動向調査（病院看護管理者対象）で把握
- 看護師の月額給与
- 前年度に比べて増額した60.4% 増額していない32.1%
- 6年度の診療報酬改定によるベースアップ
- 予定はある67.9% 予定はない27.0%

2) 千葉県医療勤務環境改善支援センターにおける看護管理者支援（千葉県委託）

看護管理アドバイザーの派遣 1件

3. ナースセンター事業（千葉県委託）の推進

重点事業1-3

【目的】ナースセンターに登録している未就業看護職等に対する復職支援及び職業紹介を行うとともに、看護職の定着・確保に寄与する。

1) 看護職の定着・確保に係る実態調査

3. ナースセンター事業（千葉県委託）の推進

1) 看護職の定着確保に係る実態調査（看護職定着確保動向調査）

- (1) 病院看護管理者 期 間 5/1～5/20 対象287施設
回収数 159施設（回収率55.4%）
- (2) 未就業看護職 期 間 5/10～5/31 対象 185名
回収数 28名（回収率15.1%）
- (3) 新人看護職 期 間 9/27～10/11
対 象 会員施設612施設及び訪問看護ステーション管理者調査において新人を採用したと回答した3施設に所属する全ての新人看護職員
併せてフレッシュセミナー（秋）参加の新人看護職員

	回収数 645名 (4) 訪問看護ステーション管理者 期 間 6/14～6/28 対象651施設 回収数 218施設(回収率33.5%) (5) 統括保健師 期 間 6/14～6/28 対象 県及び54市町村 の統括保健師 回収数 47名(回収率85.5%) (6) 再就業実態調査 期 間 5/27～6/17 対象 140名 回収数 52名(回収率37.1%)
2) 看護職の無料職業紹介	2) 看護職の無料職業紹介()内は5年度 eナースセンター利用者数 11,239名(10,354名) 新規求人数 1,613名(2,445名) 新規求職者数 632名(683名) 紹介者数(応募者数) 425名 延501名(538名 延654名) 就業者数 363名(389名)
3) 届出制度	3) 届出制度 (1) 届出者数 697名 代行届出数 386名 代行届出率 55.4% (5年度同期 734名 代行届出数 387名 代行届出率 52.7%) (2) 一斉メール等によるeナースセンターへの登録の推進 月1回届出者にメール送信 (3) 合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供 (4) 届出者に対する就業支援(電話・メール等) (5) 郵送による就業調査(届出の3ヶ月後) 発送数 124名 就業者数 48名
4) 未就業看護職の就業支援	4) 未就業看護職の就業支援 (1) 看護基礎技術講習会(4～7回/月開催) 61回実施 参加者103名(延152名) 就業者62名(就業率60.2%) (5年度60回実施 参加者100名(延148名)就業者57名 就業率57.0%) 内容 採血・点滴・筋肉注射・皮下注射・吸引・経管栄養・インス リン注射・CVポート管理・膀胱留置カテーテル挿入・摘便 アンケート 実務に役立つ 89.9% 技術の確認ができた 87.7% 知識の確認ができた 78.3%
(2) 合同就職説明会	(2) 合同就職説明会の開催(年2回開催) 第1回 7/12(プラチナナース研修会と同日開催) プラチナナースを積極的に雇用している求人施設対象 求人施設24施設 求職者26名参加 就業者9名 第2回 12/7 300床未満の病院対象 求人施設28施設 求職者21名参加 就業者6名 アンケート 求人票だけではわかりにくい内容について直接相談、確認がで きた。 今後の就業に向けて参考になった。 助言が参考になり、是非就職に向け頑張ろうと思った。
(3) 看護職への求人情報の提供	(3) 看護職への求人情報の提供 6月 9月 12月 3月
(4) 公共職業安定所等と連携した相談ブースの設置	(4) 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 74回 相談167名 (5年度 70回 相談120名) 社会福祉協議会と連携した相談ブースの設置 3回 相談4名 自治体と連携した相談ブースの設置 2回 相談4名
(5) サテライト事業の推進	(5) サテライト事業の推進 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(再掲) 合同就職説明会の開催(再掲)

	テーマ別内訳 いのちの大切さ 30校 看護の仕事 12校 いのちの大切さ+看護の仕事 6校
(2) ふれあい看護体験	(2) ふれあい看護体験 協力施設 83施設 実施施設 112施設 参加者 625名 (5年度 協力施設 82施設 実施施設 120施設 参加者 996名) アンケート n=396 回収率63.4% 学年 中学生 2.3% 高1 15.7% 高2 31.3% 高3 50.8% 応募の動機(複数回答) ・看護師への進路希望 301件 ・医療系に興味がある 131件 ・看護師の仕事内容に興味がある 200件 実施結果 ・看護職になりたい気持ちが強まった 337件 ・興味本位だったが進路の選択肢に加えようと思った 54件 申込方法に関する施設の意見 受付が協会でよかった。 自施設で申し込みぎりぎりまで受けたかった。
(3) 進路相談	(3) 進路相談 相談件数 29件(5年度28件)
10) 訪問看護再就業支援事業	10) 訪問看護再就業支援事業
11) ナースセンター維持管理	11) ナースセンター維持管理
	4. 看護補助者の確保・定着推進事業(日本看護協会委託事業) 【目的】県内の施設(病院)において、看護補助者の確保が課題となっており、一般の求職者の職業選択の参考となるよう看護補助者の働き方等を周知する。 1) 看護補助者の仕事に関する周知・広報活動 「看護補助者を知るお仕事セミナー」の開催 8/30 ハローワーク松戸 参加者 24名 10/16 ハローワーク成田 参加者 62名 10/18 ハローワーク千葉 参加者 45名 12/11 ハローワーク船橋 参加者 37名 アンケート ・看護補助者として働く意欲につながった 81% ・再就職のための情報として役立った 74% ・看護分野での支援を希望する 12% (検討中68%) 2) 求職者に対する研修の提供 日本看護協会が作成したオンデマンド研修の提供 受講者46名 アンケート ・1日の流れがイメージできた 100% ・ナースセンターの研修や相談対応に満足 76.9% 自由記載 ・看護補助者の仕事を初めて知った。 ・やるべき業務が明確に説明され理解できた。 ・患者に対して様々な役割を持った人がおり、補助者も重要な役割を担っていることがわかった。

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

【目的】

在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。

事業計画	実 績						
1. 訪問看護推進事業（千葉県委託） 重点事業3-2 【目的】地域包括ケア実現のため、地域における看護提供体制の強化が必要とされている。在宅医療の中核を担う訪問看護に関して、県民や看護職等専門職からの相談に応じるとともに、関係職種が訪問看護に関する理解を深め、役割分担と連携強化を図ることにより、安心して在宅療養ができるように訪問看護を推進する。 併せて訪問看護に従事する看護職を増やすため、各種事業を通して訪問看護への関心を高めるとともに、就業への動機づけとする。 1) 訪問看護推進協議会の開催 (1) 会議の開催 2回 (2) 部会の開催 重点事業3-2-2 ・訪問看護総合支援センター（仮称）設置の実現に向けた継続的な検討 2) 訪問看護に関する総合相談 3) 地域連携フォーラムの開催 重点事業3-1-1 4) パンフレットの配布等	1) 訪問看護推進協議会の開催 (1) 会議の開催 7/31 3/12 (2) 部会の開催 中止 2) 訪問看護に関する総合相談 相談件数49件（5年度42件） 相談者内訳 看護職25件 県民5件 事務職4件 ケアマネジャー3件 その他福祉職6件 その他6件 相談者属性 訪問看護従事者21件 県民5件 その他23件 相談内容内訳 訪問看護サービスに関すること21件 運営管理に関すること16件 介護に関すること1件 処置に関すること1件 その他10件 3) 地域連携フォーラム 11/16 Web 参 加 者 17名（訪問看護師3名 その他看護職3名 医師3名 薬剤師1名 MSW等4名 介護支援専門員1名 看護補助者2名） 目 標 地域状況に応じた多職種連携の在り方について考えることができる 実践報告 地域における活動と多職種連携について（薬剤師 栄養士） グループディスカッション 地域状況に応じた多職種連携の在り方について アンケート 回答15名 回収率88.2% <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>満足・やや満足(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践報告</td><td>93.3</td></tr> <tr> <td>グループディスカッション</td><td>86.7</td></tr> </tbody> </table> 4) パンフレットの配布等 (1) パンフレット等の配布 「訪問看護利用の手引き」「マイナースとつくる安全で安心な在宅での生活」のホームページ掲載（10月で終了） (2) ホームページの充実 訪問看護の利用等に関する情報発信（11月開始） 平均アクセス数 4月～8月12回／月 12月～1月11回／月 ※9～11月は更新作業にかかわるアクセスが含まれるため除外		満足・やや満足(%)	実践報告	93.3	グループディスカッション	86.7
	満足・やや満足(%)						
実践報告	93.3						
グループディスカッション	86.7						

5) 訪問看護指導者育成研修会 2回 6) 訪問看護再就業支援事業 重点事業1-3-1 (1) 訪問看護基礎研修会 4回 (2) 訪問看護ステーション見学体験事業 (3) 訪問看護就職フェア 1回 7) 訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 1回 8) 学生向け訪問看護ガイダンスの実施	5) 訪問看護指導者育成研修会 9/21 10/5 参加者 31名 内 容 訪問看護師に求められる役割と人材育成 方 法 講義及びグループディスカッション アンケート 回答23名 回収率74.2% 「満足・やや満足」91.2% 6) 訪問看護再就職支援事業 (1) 訪問看護基礎研修会 1日コース（講義・技術体験）7/9 10/25（就職フェアとセット）12/10 半日コース（講義のみ）7/9 9/3（ハイブリッド）10/25 12/10 参加者 1日コース13名 半日コース20名（うちWeb5名）合計33名 訪問看護への就業者 4名（12.1%） アンケート 回答者26名、回収率78.8% 「就業意欲が高まった」84.6% (2) 訪問看護ステーション見学体験事業（7月～1月） 申込者 6名 実施者 6名 訪問看護への就業者2名 (3) 訪問看護就職フェア 10/25（訪問看護基礎研修会後に開催） 訪問看護求人施設（17施設）、就業相談推進アドバイザーとの個別相談 参加者 同フェアのみ6名 訪問看護基礎研修会同時参加4名 合計10名 ※学生の参加なし 訪問看護への就業者2名（うち1名は同フェア参加施設へ就業） アンケート 回答者10名 回収率100% 「就業意欲が高まった」90.0% 7) 訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 12/3 Web 講演「病院からの訪問看護を実現するためには」 参加者 33名（看護職29名 その他事務職等4名） アンケート 回答者19名 回収率57.6% 「病院経営と訪問看護設置について参考になった」94.7% 8) 学生向け訪問看護ガイダンス 実 施 12校（学生666名 教員34名） 講義1 在宅医療を取り巻く状況と訪問看護師の育成（新卒者等訪問看護師育成プログラムの紹介） 講義2 育成プログラムを利用した新卒訪問看護師からの体験談（動画） アンケート 回答者296名 回収率44.4% 「訪問看護への興味・関心が高まった」94.9% 「訪問看護を就職先の選択肢の一つにしてみたいと思う」71.3%
2. 訪問看護推進事業（協会単独事業） 重点事業3-2-1 【目的】在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的かつ高い質で供給するために、訪問看護を提供する人材の育成及び訪問看護ステーションの業務の効率化等に向けた支援を行い、訪問看護師の定着を図る。 1) 訪問看護師人材育成事業 (1) 「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を活用した人材育成支援事業	2. 訪問看護推進事業（協会単独事業） 1) 訪問看護師人材育成事業 (1) 「新卒者等訪問看護師育成プログラム（以下新卒プログラム）」を活用した人材育成支援事業

・人材育成支援

対象：新卒訪問看護師、チャレンジ看護師、
転職看護師

・交流会等の開催

・「新卒者等訪問看護師育成プログラム」活用
拡大に関する運用評価

・「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を
活用した人材育成事業の普及

・人材育成支援

育成支援実施 新卒看護師 1 名（育成期間 2 年中 2 年目 1 名）
平成24年度からの累積人数 新卒看護師15名 転職看護師 2 名
チャレンジ看護師21名

・交流会の開催

「新人育成交渉会」 8/17

会 場 千葉県看護協会

参加者 新人（2 年以内）2 名 管理者等 5 名

講 演 「新卒・新人訪問看護師の特徴を概観しながら、教育
支援についてみんなで考える」「みんなで育成、みん
なが成長」

交流会 「新人グループ」「管理者等グループ」で実施

アンケート n=7 名（%）

アンケート項目	該当	やや該当	あまり該当しない
横のつながりをつくる(全体)	4(57.1)	2(28.6)	1(14.3)

n=5 名（%）

アンケート項目	該当	やや該当	あまり該当しない
新人育成に役立つ(管理者等)	4(80.0)	1(20.0)	0(0.0)

n=2 名（%）

アンケート項目	該当	やや該当	あまり該当しない
就業継続の意欲向上(新人)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)

・「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を活用した人材育成事業の
普及

当事業の研修や県内訪問看護ステーション宛て郵送物への同封、
機関誌「看護ちば」への掲載、県訪問看護ステーション協会へ
の周知等

(2) 訪問看護師養成講習会の開催（再掲）

2) 看護小規模多機能型居宅介護（看多機）に関する取り組みの検討

(2) 訪問看護師養成講習会（再掲）

2) 看護小規模多機能型居宅介護（看多機）に関する
取り組みの検討 **重点事業3-2-3**

(1) 訪問看護推進協議会、関連会議等における情
報収集

(2) 千葉県看多機連絡協議会との情報交換

(2) 千葉県看多機連絡協議会との情報交換

千葉看多機研究会 2/8 千葉中央ホール

(3) 県民への情報提供

3. 関係団体との連携

【目的】在宅医療の中核を担う訪問看護に関する事業
を円滑に推進するために、関係機関との連携を強化し、
情報収集等を行い課題解決への参考とする。

1) 日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携

2) 千葉県訪問看護ステーション協会等との連携

3. 関係団体との連携

2) 千葉県訪問看護ステーション協会等との連携

千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議
9/7 3/8

Ⅳ 県民への健康・福祉の増進に関する事業

【目的】

看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。

事業計画	実 績																																																																																			
1.「看護の日」「看護週間」事業 重点事業 1-4 【目的】若年層を中心とした県民に、実際の看護体験を伝え、看護への興味・関心を深め、看護職への就業促進を図る。 1) 令和6年度「看護の日・看護週間」事業 (1) 中央行事の開催 開催日 令和6年5月12日(日) 場 所 ペリエホール (2) 地区部会での行事の開催 開催日 各地区部会で設定した日 会 場 地区部会ごとに決定した施設 内 容 若年層をターゲットとした看護の魅力が伝わる内容 2) 実行委員会の開催 2回	1.「看護の日」「看護週間」事業 1) 令和6年度「看護の日・看護週間」事業 (1) 中央行事の開催 開催日 令和6年5月12日(日) 場 所 ペリエホール テーマ 看護の力を未来へつなげよう 内 容 講演会、進路相談、体験コーナー、メークポイントレッスン、日本看護協会「かんごちゃんねる」ライブ配信 参加者 74名 内 訳 <table><tr><th></th><th>10歳未満</th><th>10代</th><th>20代</th><th>30代</th><th>40代</th><th>50代</th><th>60歳以上</th><th>合計</th></tr><tr><td>人数(名)</td><td>1</td><td>43</td><td>7</td><td>1</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td><td>74</td></tr><tr><td>(%)</td><td>1</td><td>58</td><td>10</td><td>1</td><td>11</td><td>11</td><td>8</td><td>100</td></tr></table> 参加者からの声 ・看護師になりたいという思いが高まった ・受験を頑張ろうと思った ・講演会がとてもためになった ・看護学部の受験について詳しく知ることができた 等 (2) 地区部会での行事の開催 <table><tr><th>地区</th><th>開催日</th><th>会場</th><th>人数</th></tr><tr><td>千葉</td><td>5/12</td><td>イオンタウンおゆみ野</td><td>192</td></tr><tr><td>市原</td><td>5/12</td><td>ユニモちはら台</td><td>229</td></tr><tr><td>船橋</td><td>5/18</td><td>ユアエルム八千代台</td><td>209</td></tr><tr><td>市川</td><td>5/12</td><td>市川市中央図書館</td><td>72</td></tr><tr><td>松戸</td><td>5/16</td><td>イトーヨーカドー松戸店</td><td>81</td></tr><tr><td>東葛</td><td>5/18</td><td>モラージュ柏</td><td>134</td></tr><tr><td>印旛</td><td>5/11</td><td>夢咲くら館</td><td>55</td></tr><tr><td>利根</td><td>5/11</td><td>イオンモール銚子</td><td>202</td></tr><tr><td>山武</td><td>5/12</td><td>東金サンピア</td><td>85</td></tr><tr><td>長夷</td><td>5/11</td><td>おおたきショッピングプラザオリブ</td><td>60</td></tr><tr><td>君津</td><td>5/11</td><td>君津中央病院</td><td>7</td></tr><tr><td>安房</td><td>5/11</td><td>安房地域医療センター</td><td>16</td></tr><tr><td colspan="3">合 計(延べ人数)</td><td>1,342</td></tr></table> (参考) <地区別若年層(高校生以下)の参加割合> 千葉33.3% 市原(不明) 船橋10% 市川54.1% 松戸9.8% 東葛 1.4% 印旛18.1% 利根18.3% 山武2.3% 長夷23.3% 君津14.2% 安房68.8% 2) 実行委員会の開催 8/2 1/17		10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	合計	人数(名)	1	43	7	1	8	8	6	74	(%)	1	58	10	1	11	11	8	100	地区	開催日	会場	人数	千葉	5/12	イオンタウンおゆみ野	192	市原	5/12	ユニモちはら台	229	船橋	5/18	ユアエルム八千代台	209	市川	5/12	市川市中央図書館	72	松戸	5/16	イトーヨーカドー松戸店	81	東葛	5/18	モラージュ柏	134	印旛	5/11	夢咲くら館	55	利根	5/11	イオンモール銚子	202	山武	5/12	東金サンピア	85	長夷	5/11	おおたきショッピングプラザオリブ	60	君津	5/11	君津中央病院	7	安房	5/11	安房地域医療センター	16	合 計(延べ人数)			1,342
	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	合計																																																																												
人数(名)	1	43	7	1	8	8	6	74																																																																												
(%)	1	58	10	1	11	11	8	100																																																																												
地区	開催日	会場	人数																																																																																	
千葉	5/12	イオンタウンおゆみ野	192																																																																																	
市原	5/12	ユニモちはら台	229																																																																																	
船橋	5/18	ユアエルム八千代台	209																																																																																	
市川	5/12	市川市中央図書館	72																																																																																	
松戸	5/16	イトーヨーカドー松戸店	81																																																																																	
東葛	5/18	モラージュ柏	134																																																																																	
印旛	5/11	夢咲くら館	55																																																																																	
利根	5/11	イオンモール銚子	202																																																																																	
山武	5/12	東金サンピア	85																																																																																	
長夷	5/11	おおたきショッピングプラザオリブ	60																																																																																	
君津	5/11	君津中央病院	7																																																																																	
安房	5/11	安房地域医療センター	16																																																																																	
合 計(延べ人数)			1,342																																																																																	

2. 「まちの保健室」事業

【目的】県民が気軽に自身や家族の健康について相談できる場の確保を図るとともに、時代に応じた健康問題を取り上げ、予防の観点から健康教育を実施する

1) 常設型・イベント型の開催

2. 「まちの保健室」事業

1) 常設型・イベント型の開催

	6年度				5年度			
	実施回数(回)		参加者(名)		実施回数(回)		参加者(名)	
	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント
千葉地区	1	1	379	571	1	1	439	557
市原地区		1		116		1		119
船橋地区	2	1	55	175	2	1	47	156
市川地区	3		248		1		74	
松戸地区	1		66					
東葛地区	2		230			3		402
印旛地区	2	1	44	26				
利根地区	3		205		2		143	
山武地区		2		254		2		139
長夷地区	3		53		3		24	
君津地区	1	1	57	106		2		241
安房地区		1		274		1		110
合 計	18	8	1,337	1,522	9	11	727	1,724

※元年度実施状況 常設型38回 参加者4,693名

イベント型14回 参加者4,148名

感想

- ・ゆっくり話すことができ、分かりやすく説明してくれてよかった。
- ・良いイベントですね、血管年齢等計測に興味があり良い機会になった。
- ・毎日の生活を見直す機会になるので続けてやってほしい。(複数意見)
- ・とてもよかった、楽しかった。次回も楽しみにしています。(多数意見)

3. 自殺予防対策

【目的】「健康問題」を始め様々な悩みの原因について受け止め、ゲートキーパーの役割として、相談先の紹介等解決に向けた支援を行う「心の総合相談窓口」を継続する。

県内看護職が、自他共に活かせるメンタルヘルス対策を習得し、看護の資質の向上を図る。

1) 心の総合相談窓口

(1) 専用電話・専用メールによる対応

3. 自殺予防対策

1) 心の総合相談窓口

(1) 専用電話・専用メールによる対応

		6年度	5年度
相談件数(件)		171	229
相談方法	電話相談	144	181
	メール相談	27	48
相談者数(人)		158	154
相談者背景	県民	120	131
	看護職	13	18
	その他	25	5

希死念慮の訴え

	相談方法	6年度	5年度	4年度	3年度
相談件数	電話	0	7	11	1
	メール	3	5	1	6

・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 2) 災害に備えた支援体制の整備 (1) 天災危険担保特約付国内旅行傷害保険包括契約の継続 (2) 災害時の災害支援ナースの派遣調整 (3) 災害時必要物品の管理 1回 3) 災害対策委員会の開催 6回 6. 感染症対策事業 重点事業4-2 【目的】新興感染症等の感染対策に関する最新の知識、技術を習得し、看護の対象者や自身及び職場の感染を防ぎ、安全な看護を実践できる看護職を育成する。 1) 支援体制の整備 (1) 感染症対策委員会の開催 6回 2) 感染症対策を担う看護職の育成 (1) 安全と安心を守る感染症対策の基本（生涯学習） (2) 感染管理研修（基礎編2日・感染対策強化実践編2日）（生涯学習） (3) （仮称）スペシャリストナースからのメッセージ 7. 災害支援ナース養成研修（生涯学習） 8. 事業継続計画（BCP）の検討 重点事業4-3	・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 九都県市合同防災訓練（千葉県会場） 10/20 場所 いすみ市立大原中学校 長夷地区部会4名参加 九都県市合同防災訓練（千葉市会場）救護所開設・運営訓練 8/28 場所 千葉市総合保健医療センター休日救急診療所 千葉地区部会 2名参加 2) 災害に備えた支援体制の整備 (1) 天災危険担保特約付国内旅行傷害保険包括契約（中止） (2) 災害時の災害支援ナースの派遣調整 (3) 災害時必要物品の管理（中止） 3) 災害対策委員会の開催 8/8 9/11 11/13 1/8 2/12 6. 感染症対策事業 1) 支援体制の整備 (1) 感染症対策委員会の開催 8/22 9/26 10/24 11/28 2/27 2) 感染症対策を担う看護職の育成 (1) 安全と安心を守る感染症対策の基本（生涯学習再掲） (2) 感染管理研修（基礎編2日・感染対策強化実践編2日）（生涯学習再掲） 7. 災害支援ナース養成研修（生涯学習再掲） 8. 事業継続計画（BCP）の検討 日本看護協会の事業継続計画（BCP）策定に係る情報収集等
---	---

V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	
【目的】 看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	
事業計画	実績
1. 職能委員会（職能） 1) 保健師職能委員会 6回 2) 助産師職能委員会 6回 3) 看護師職能委員会（領域Ⅰ） 6回 4) 看護師職能委員会（領域Ⅱ） 6回 2. 職能集会・交流会（職能） 1) 職能集会 ・開催日 令和6年6月20日（木） ・場 所 TKP東京ベイ幕張ホール ・4職能合同集会として企画 2) 各職能別交流会 (1) 保健師職能交流会 1回 (2) 助産師職能交流会 1回 (3) 看護師職能交流会（領域Ⅰ・准看護師）各1回	1. 職能委員会（職能） 1) 保健師職能委員会 8/27 10/7 11/19 12/19 2/27 3/19 2) 助産師職能委員会 9/6 10/16 11/13 12/18 1/31 2/19 3) 看護師職能委員会（領域Ⅰ） 9/4 10/1 11/9 12/17 1/24 3/21 4) 看護師職能委員会（領域Ⅱ） 8/6 8/29 11/7 12/5 2/6 3/6 2. 職能集会・交流会（職能） 1) 職能集会 開催日 令和6年6月20日（木） 場 所 TKP東京ベイ幕張ホール 4職能合同集会として企画 （参加者173名） 2) 各職能別交流会 (1) 保健師職能交流会 2/27 (2) 助産師職能交流会 3/12 (3) 看護師職能交流会（領域Ⅰ・准看護師） 11/9 12/17

(4) 看護師職能交流会(領域Ⅱ)	1 回	(4) 看護師職能交流会(領域Ⅱ)	11/7
3. 4 職能委員長会	3 回	重点事業 3-1-1	3. 4 職能委員長会
			・ 4 職能委員長会 9/10 3/6
			・ 4 職能委員会合同会議 5/20
4. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)			4. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)
		重点事業 3-3-2	
1) 県の令和7年度予算等に関する要望書の提出			1) 県の令和7年度予算等に関する要望書の提出 8/2
2) 県議会等の活動への協力依頼等			2) 県議会等の活動への協力依頼等 8/6 9/24
3) 千葉県医療審議会等への参画			3) 千葉県医療審議会等への参画
			千葉県・市町村等関係会議 108回 関係団体等会議 88回
4) 協定締結等による役割の明確化と連携強化			
		重点事業 4-1-1	
		4-2-1	
5. 看護関連施策に対する提言(看護制度)			
1) 国・日本看護協会等の要望・提言			
2) 資格認定制度の推進			
(1) 専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進			
		重点事業 2-3	
(2) 特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進		重点事業 2-4	

Ⅵ 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

【目的】

在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事業計画	実 績			
1. 訪問看護事業	1. 訪問看護事業（訪問看護師常勤換算 現在7.3人 * 11月から産休1名）			
1) 質の高い訪問看護の提供				
2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援				
3) 24時間、緊急時の訪問看護の提供				

		6 年度	5 年度	増減
1) 質の高い訪問看護の提供				
利用者数延(名)		840	870	△30
内訳	介護保険利用者	449	503	△54
	医療保険利用者	391	367	24
訪問回数(回)		5,198	4,930	268
内訳	介護保険利用者	2,269	2,149	120
	医療保険利用者	2,929	2,781	148
2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援				
在宅での看取り(名)		13	12	1
人工呼吸器装着患者(名)		5	5	0
小児(名)		3	3	0
3) 24時間、緊急時の訪問看護の提供				
緊急訪問延(回)		159	237	△78
休日緊急訪問延(回)		60	70	△10

2. 居宅介護支援事業
- 1) ケアプランの提供
 - 2) 地域のネットワークづくり
 - 3) 利用者の申請代行
3. 訪問看護の普及
- 1) 訪問看護研修生の受入れ
 - 2) 看護学生実習の受入れ
4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備
- 1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援
 - 2) ちば訪問看護ステーション定例会議 毎月
 - 3) ちば訪問看護ステーション運営会議 2回
5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携
- 1) 医療機関、介護支援専門員等との連携
 - (1) 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加
 - 2) 利用者確保のための広報活動
6. 職員の資質の向上
- 1) 事例検討ミーティング
 - 2) 研修会・学会等への参加
 - 3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加
 - 4) 訪問看護師クリニカルラダーの活用
7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進
- 1) 看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み

2. 居宅介護支援事業
(ケアマネジャー常勤換算 現在1.0人)

	6年度	5年度	増減
1) ケアプランの提供			
ケアプラン作成(件)	375	389	△14
2) 地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)			
担当者会議(回)	48	37	11
3) 利用者支援(介護認定支援業務)			
利用者の申請代行(件)	40	40	0

3. 訪問看護の普及
- 1) 訪問看護研修生の受入れ 1名 1施設 5日間
 - 2) 看護学生実習の受入れ 29名 8校 延65日間
研修生・看護学生実習後アンケート結果(30名中回収率100%)
学びは深まったか とても深まった94.7% やや深まった5.3%
実習の満足度について 大変満足78.9% 満足21.1%
4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備
- 1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援
ALS利用者に関わる複数の介護事業所に対して呼吸器等吸引研修を実施
 - 2) ちば訪問看護ステーション定例会議 11回
4/16 5/21 6/18 7/30 9/17 10/29 11/19 12/17 1/21
2/18 3/18
 - 3) ちば訪問看護ステーション運営会議 4回
4/16 7/30 10/29 3/18
5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携
- 1) 医療機関、介護支援専門員等との連携
 - (1) 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 13回
4/24 5/8 5/23 5/24 6/19 6/28 7/17 7/18
9/26 9/27 11/7 12/7 3/14
 - 2) 利用者確保のための広報活動
第32回美浜区民フェスティバル 10/6
6. 職員の資質の向上
- 1) 事例検討ミーティング 6回 4/16 5/21 6/18 7/30 9/17 11/19
 - 2) 研修会・学会等への参加 10名
 - 3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加
第32回美浜区民フェスティバル 10/6 (再掲)
 - 4) 訪問看護師クリニカルラダーの活用
クリニカルラダーを運用と研修計画の立案、遂行
7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進
- 1) 看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的・基幹的な取り組み
千葉市認知症初期集中支援推進事業 会議12回

年度	6年	5年	4年	3年	2年
症例数(名)	8	4	3	6	5
訪問延件数(件)	32	19	14	22	64

2) 職員が働きやすく、魅力ある職場づくり	2) 職員が働きやすく、魅力ある職場づくり スタッフが自主的にステーション運営のための活動①BCPの作成、 ②業務改善（学生オリエンテーションの効率化運用、緊急対応の役割分担、有休取得推進等）。
3) 経営の安定化	3) 経営の安定化 看護師 1人1日当たり訪問回数3.3件（前年3.1件 目標訪問回数3.4件以上）
4) 看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 1回	4) 看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 3/25

VII その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【目的】

1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。
2. 情報提供及び広報を行う。
3. 当協会会員に対する相互扶助等の（福利厚生）事業を行う。
4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。

事業計画	実績
【公益目的事業】 1. 地区部会活動事業 重点事業5-2-1 【目的】地域において、看護職の資質の向上を図るとともに、医療の担い手として誇りをもち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献することを目的とする。 1) 具体的な地区部会活動 (1) 役員会 5回程度 (2) 連絡会 2回 (3) 研修会 2回程度 (4) まちの保健室の開催（再掲） (5) 「看護の日」「看護週間」事業（再掲） (6) その他、地区特有の事業 2) 地区部会長会の開催 2回 3) 地域連携強化と多職種連携会議への参画 重点事業3-1-2 2. 情報提供、広報事業 1) 機関誌「看護ちば」の発行 4回	【公益目的事業】 1. 地区部会活動事業 1) 具体的な地区部会活動 (1) 役員会67回 (千葉4 市原6 船橋5 市川6 松戸6 東葛4 印旛5 利根8 山武6 長夷4 君津5 安房8) (2) 連絡会23回 (千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛1 印旛2 利根2 山武2 長夷2 君津2 安房2) (3) 研修会22回 (千葉2 市原2 船橋2 市川1 松戸2 東葛2 印旛2 利根2 山武2 長夷2 君津2 安房1) (4) まちの保健室の開催（再掲） (5) 「看護の日」「看護週間」事業（再掲） (6) その他、地区特有の事業 会計担当者会議 6/13 2) 地区部会長会の開催 8/2 1/17 Web 3) 地域連携強化と多職種連携会議への参画 医療審議会等外部会議46回 (千葉2 市原9 船橋6 市川3 松戸8 印旛5 利根2 山武5 長夷2 君津3 安房1) 地域イベント事業等への協力24回 (千葉2 市原3 船橋1 松戸2 印旛3 山武2 長夷1 君津1 安房9) 2. 情報提供、広報事業 1) 機関誌「看護ちば」の発行（149号 150号 151号 152号） 発行数 各27,500部

2) ホームページの充実 (1) メーリングリストの活用 (2) 会員専用サイトの充実 (3) SNSの検討 3) 県民に向けた広報 (1) 県民に向けた広報誌等の発行 1回 (2) ホームページの充実 4) 千葉県看護協会の広報 (1) 協会事業案内の発行 (2) 普及啓発品の作成・活用 5) 広報検討会議の開催 月1回 6) 広報委員会の開催 6回	2) ホームページの充実 (1) メーリングリストの活用 登録者数 237名 (2) 会員専用サイトの充実 3) 県民に向けた広報 (1) 県民に向けた広報誌等の発行 1回 広報誌「げんき」の発行 4月 発行数 25,000部 (2) ホームページの充実 アクセス数 延408,004件（前年同期比 103.8%） 更新回数 314回（前年度 301回） 4) 千葉県看護協会の広報 (1) 協会事業案内の発行 2,400部 5) 広報検討会議の開催 4/24 5/29 6/26 7/29 8/28 9/25 10/23 11/27 12/25 1/22 3/12 6) 広報委員会の開催 8/30 9/30 10/30 11/29 1/31 2/28
【収益事業】 1. 販売手数料及び出展広告料に関する事業 1) 看護関連図書の紹介 2) 出展広告掲載業者の募集 3) 会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会） 2. 会員サービス・福祉の充実等 1) 会員への相談支援、情報提供 2) 看護職の表彰 3) 慶弔見舞金等の給付 4) 災害時の支援（再掲） 5) 会員福利厚生サービスの実施・広報	【収益事業】 1. 販売手数料及び出展広告料に関する事業 1) 看護関連図書の紹介 2) 出展広告掲載業者の募集 3) 会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会） 2. 会員サービス・福祉の充実等 2) 看護職の表彰（令和6年度受賞者） 千葉県看護協会長表彰 364名 春の叙勲 4名（瑞宝双光章 2名 瑞宝単光章 2名） 秋の叙勲 2名（瑞宝単光章） 公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰 1名 千葉県看護功労者知事表彰 15名 日本看護協会長表彰 5名 3) 慶弔見舞金等の給付 弔慰金 15件 災害見舞金 1件 4) 災害時の支援（再掲） 5) 会員福利厚生サービスの実施・広報 (1) 会員福利厚生サービス提供内容 2024年度版 入会特典のご案内 会員福利厚生成成 30,000部 東京ディズニーリゾート®・コーポレートプログラム利用券 延べ応募者数854名 当選者数 200名 利用者数 156名（78.0%） S-QUE新人看護職員研修（e-ラーニング）の提供 40名 (2) 看護ちばへの掲載
【法人会計】 1. 組織運営に関する会議等の開催 1) 定時総会 ・開催日 令和6年6月20日（木） ・場所 TKP東京ベイ幕張ホール	【法人会計】 1. 組織運営に関する会議等の開催 1) 定時総会 開催日 令和6年6月20日（木） 場 所 TKP東京ベイ幕張ホール 出席者 261名 委任状 18,451名 審議事項

		第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 第2号議案 令和6年度改選役員及び推薦委員の選任について 第3号議案 定款変更について 第4号議案 「役員報酬の総額について」の改正について 第5号議案 総会運営規則の一部改正について 第6号議案 選挙運営規則の一部改正について 第7号議案 2025年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について
2) 理事会	6回	2) 理事会 5/23 6/20 7/23 10/17 12/12 3/6
3) 監事監査	2回	3) 監事監査 5/9 11/14
4) 施設等会員代表者会	2回	4) 施設等会員代表者会 7/23 1/29
5) 地区部会長会（再掲）	2回	5) 地区部会長会（再掲）
6) 保助看護職能委員会（再掲）	6回	6) 保助看護職能委員会（再掲）
7) 推薦委員会	6回	7) 推薦委員会 8/20 10/29 11/13 1/15 3/5
8) 常任委員会（再掲）	6回	8) 常任委員会（再掲）
教育委員会		教育委員会
労働環境改善委員会		労働環境改善委員会
医療安全委員会		医療安全委員会
広報委員会		広報委員会
会員増促進委員会		会員増促進委員会
看護研究委員会		看護研究委員会
災害対策委員会		災害対策委員会
感染症対策委員会		感染症対策委員会
9) 特別委員会（再掲）		9) 特別委員会（再掲）
ナースセンター運営委員会		ナースセンター運営委員会
認定看護管理者教育課程運営委員会		認定看護管理者教育課程運営委員会
看護職定着確保対策協議会		看護職定着確保対策協議会
看護研究倫理審査委員会		看護研究倫理審査委員会
10) 関係団体との連携会議（千葉県看護連盟等）		10) 関係団体との連携会議（千葉県看護連盟等）
		(1) 千葉県看護連盟
		① 合同役員会 9/24
		② 合同研修会 2/19
2. 会員増の促進	重点事業5-1	2. 会員増の促進
		会員数 27,791名（うち新規入会1,880名） 入会率 44.8% （前年度 423名減、うち新規入会者数は199名）
1) 新規・再入会の促進		1) 新規・再入会の促進
(1) 入会特典の充実（再掲）		(1) 入会特典の充実（再掲）
(2) 入会促進ツールの活用		(2) 入会促進ツールの活用
		① 施設向け 延べ157施設 入会案内 2,152部、看護協会ガイドブック（千葉県版）2,564部、 かんごちゃんしおり型・カード型ツール（入会QRコード付）2,797枚 等
		② 看護学生向け 42校 2,668名 かんごちゃんしおり型ツール・看護協会ガイドブック（千葉県版）等
2) 継続会員への勧奨		2) 継続会員への勧奨
		入会後のご案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 1,880名
3) 千葉県内看護師等学校養成所卒業生に向けた協会案内		3) 千葉県内看護師等学校養成所卒業生に向けた協会案内
(1) 看護学生の表彰		(1) 看護学生の表彰 対象 34校 34名

(2) 協会の機能と役割に係る特別講話 4) 会員増促進委員会の開催 6回 3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等） 1) 令和7年度事業計画・収支予算等の提出 2) 令和5年度定期報告（事業報告・決算報告等） 3) 役員等の変更登記及び届出 4. 日本看護協会との連携 1) 通常総会 2) 法人会会員・理事会 3) 地区別法人会会員 4) 全国職能委員長会 5) その他関連会議等 5. 行政等との連携 重点事業3-1 1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画 2) 関係団体との連携 6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 1) 担当業務に係る外部研修等の受講	(2) 協会の機能と役割に係る特別講話 対象 18校（大学6校・専門学校12校） (3) 千葉内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 対象 令和6年度卒業生42校 2,668名 4) 会員増促進委員会の開催 8/21 9/25 10/30 11/27 1/22 2/26 3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等） 1) 令和7年度事業計画・収支予算等の提出 3/27 2) 令和5年度定期報告（事業報告・決算報告等） 6/26 3) 役員等の変更登記及び届出 8/15 定款変更及び理事、監事に対する報酬等の支給の基準の変更に伴う変更届 9/18 4. 日本看護協会との連携 1) 通常総会 6/6 代議員28名 全国職能別交流集会 6/7 2) 法人会会員・理事会 法人会会員 5/10 7/26 9/20 11/29 2/28 理事会 5/10 6/6 7/25・26 9/20 11/28・29 2/27・28 3) 地区別法人会会員 10/9・10 地区別職能委員長会 10/10 4) 全国職能委員長会 8/2 3/7 5) その他関連会議等 5. 行政等との連携 1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画（再掲） 2) 関係団体との連携 行事等への後援等 33件 6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 1) 担当業務に係る外部研修等の受講 アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策 6/17 1名 アドバンスケアプランニング（ACP）を学ぼう 7/29 1名 日本看護管理学会 8/23・24 2名 よりよい人間関係を築くためのアサーション 8/29 1名 人を育てる臨地実習 8/29・30 1名 地域で暮らす高齢者を支える看護職種・多職種連携 9/9 1名 2024年度都道府県看護協会図書室担当者研修会 9/12 1名 地域連携BCPの基礎を学び有事のつながりを考える研修会 9/27 1名 公益法人運営に関する勉強会（インボイス制度、改正電子帳簿保存法） 9/27 2名 順天堂大学実習指導者ジョイントセミナー 11/16 2名 日本訪問看護財団設立30周年記念・訪問看護サミット2024 11/16 2名 令和6年度公益法人制度改正に関する勉強会 11/29 7名 複合的課題・医療連携・地域連携等の実践事例について 11/30 1名 Excel徹底活用術 基礎編 12/12 2名 都道府県看護協会危機管理者担当者会議 12/19 1名 日本公衆衛生看護学会 1/4・5 2名 医療・介護・福祉・行政関係者のための研修企画担当者向け研修 1/9 1名 次なる感染症危機への備え～新しい政府行動計画が目指すもの～ 1/10 2名
--	--

2) 集合研修の実施 3) 健康診断及びインフルエンザ等予防接種 4) 有給休暇の取得促進 7. 協会資産の管理 1) 看護会館等の管理 (1) 看護会館の管理 ①保全等 ②環境整備 (2) 協会物品の管理 ①固定資産台帳の管理 ②物品台帳の管理 2) 情報資産の管理・活用 (1) 情報資産の管理 ①情報セキュリティの確保 ②個人情報関連業務の標準化 (2) 情報資産の活用 ①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有 ②研修管理システムの管理・運用 3) 看護会館の再整備 (1) 再整備の方向性検討のための基礎調査等の実施	令和6年度 楽しく学べる！はじめての成年後見講座 1/12 1名 医療介護福祉政策研究フォーラム新春座談会 1/30 1名 第2回 ちば看多機研究会 2/8 1名 医療事故調査制度 支援団体統括者セミナー 2/9 1名 令和6年度 小児初期救急医療研修会 2/11 1名 令和6年度（第63回）千葉県公衆衛生学会 3/7 2名 新しい公益法人会計基準の移行に向けたオンライン説明会 3/14 2名 文化看護学会第17回学術集会 3/16 1名 新しい公益法人制度説明会 3/18 1名 2) 集合研修の実施 公益法人制度等に関する研修 10/17 24名 3) 健康診断及びインフルエンザ等予防接種 4) 有給休暇の取得促進 7. 協会資産の管理 1) 看護会館等の管理 (1) 看護会館の管理 ①保全等 ②環境整備 (2) 協会物品の管理 ①固定資産台帳の管理 ②物品台帳の管理 備品管理台帳の整備・管理 2) 情報資産の管理・活用 (1) 情報資産の管理 ①情報セキュリティの確保 ②個人情報関連業務の標準化 (2) 情報資産の活用 ①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有 ②研修管理システムの管理・運用 3) 看護会館の再整備
--	---

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
分類1 質の高い看護の普及に向けた生涯学習のための研修(32研修中 31研修終了 1研修中止)							
ケアする力	新人～IV	001	【新規】安全と安心を守る感染症対策の基本	ハイブリッド	100	62	62.0
	II～IV	002	【新規】感染管理研修(基礎編2日・感染対策強化実践編2日)	対面	50	51	102.0
	新人～IV	003	多職種連携による入退院支援公開研修(公開研修 訪問看護師養成講習会と合同)	ライブ	80	51	63.8
	I～IV	004	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識	対面	120	112	93.3
	I～IV	005	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識	対面	120	112	93.3
	I～IV	006	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識	対面	120	108	90.0
	I～IV	007	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識	対面	120	107	89.2
	II～IV	008	認知症対応力スキルアップ研修	対面	50	18	36.0
	III～IV	009	★☆認知症対応力向上研修	対面	160	59	36.9
	新人	010	准看護師のためのスキルアップ研修	対面	20	7	35.0
	新人～IV	011	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	15	15	100.0
	新人～IV	012	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	15	10	66.7
	新人～IV	013	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	15	12	80.0
	新人～IV	014	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	15	3	20.0
	新人～IV	015	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	12	12	100.0
	新人～IV	016	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	12	12	100.0
	新人～IV	017	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	12	5	41.7
	新人～IV	018	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	12	2	16.7
	新人～IV	019	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	12	12	100.0
	新人～IV	020	AHA心肺蘇生法トレーニングBLS(一次救命処置)BLSコース	e-ラン 対面	12	12	100.0
	新人～IV	021	AHA心肺蘇生法トレーニングACLS(一次救命処置)ACLSコース	e-ラン 対面	15	14	93.3
	新人～IV	022	AHA心肺蘇生法トレーニングACLS(一次救命処置)ACLSコース	e-ラン 対面	(15)	中止	
	I～IV	023	AHA心肺蘇生法トレーニングACLS(二次救命処置)プロバイダーコース	e-ラン 対面	15	2	13.3
協働する力	I～IV	024	医療から在宅につなぎ支える看護	ライブ	100	78	78.0
	新人～IV	025	小児虐待の芽をつむ多職種連携	ライブ	50	26	52.0
	I～IV	026	★医療的ケア児等在宅移行支援研修(基礎編)	ライブ/ 対面	20	20	100.0
	I～IV	027	★医療的ケア児等在宅移行支援研修(応用編)	ライブ/ 対面	20	12	60.0
	新人～IV	028	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	e-ラン 対面	50	53	106.0
	新人～IV	029	高齢者の尊厳を守り日常生活を支える看護	ライブ	100	55	55.0
	新人～IV	030	ヘルシーワークプレイス～私にできること～	ライブ	100	50	50.0
	I～IV	031	看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践	ライブ	100	14	14.0
	新人～IV	032	医療安全管理者養成研修	e-ラン 対面	75	88	117.3
分類1 小計					1,717	1,194	69.5

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
分類2 ラダーと連動した生涯学習のための研修(64研修中 63研修終了 1研修中止)							
とらえる力 ニーズを	新人～Ⅲ	033	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 循環・意識障害	ハイブリッド	100	84	84.0
	新人～Ⅲ	034	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 呼吸・腹部症状	ハイブリッド	100	83	83.0
	新人～Ⅲ	035	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 骨筋・神経	ハイブリッド	100	34	34.0
	I～Ⅲ	036	小児のフィジカルアセスメント	ライブ	40	33	82.5
	Ⅱ～Ⅲ	037	基礎から学ぶ臨床推論	ライブ	100	48	48.0
ケアする力		038	災害支援ナース養成研修	e-ラン 対面	70	60	85.7
		039	災害支援ナース養成研修	e-ラン 対面	70	70	100.0
	新人～Ⅳ	040	糖尿病合併症の重症化予防と看護	ライブ	100	34	34.0
	新人～Ⅳ	041	急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本	ライブ	100	101	101.0
	新人～Ⅲ	042	食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント	対面	50	37	74.0
	新人～Ⅲ	043	地域における看取りを考える～在宅・介護施設における看取り	対面	100	36	36.0
	新人～Ⅳ	044	がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援	ライブ	100	55	55.0
協働する力	新人～Ⅲ	045	医療安全Ⅰ ～危険予知トレーニングKYT～	対面	70	52	74.3
	I～Ⅳ	046	医療安全Ⅱ ～チームステップス～	対面	60	60	100.0
	I～Ⅳ	047	医療安全Ⅲ ～医療事故事例を法律から見てみる・看護記録～	対面	100	71	71.0
	I～Ⅳ	048	リーダーを始める人のためのコーチング	対面	80	86	107.5
	Ⅱ～Ⅳ	049	より良い人間関係を築くためのアサーション	ライブ	100	92	92.0
	Ⅱ～Ⅳ	050	リーダーシップ研修～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	ライブ	100	97	97.0
	新人～Ⅳ	051	アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策	ライブ	100	53	53.0
	新人～Ⅳ	052	成長を支えるためのレジリエンスとセルフコンパッション	ライブ	100	60	60.0
支える力 意思決定を	新人～Ⅳ	053	ハラスメントのない職場環境を目指して	ライブ	100	54	54.0
	Ⅱ～Ⅳ	054	看護実践における看護倫理	ライブ	100	67	67.0
	Ⅱ～Ⅳ	055	その人らしい生き方を支える意思決定への支援	ライブ	100	45	45.0
共通	新人	057 ～ 063	フレッシュセミナー(春)(秋)	対面	(各120) 960	911	94.9
				ライブ	(各200) 1,200	785	65.4
		064	フレッシュセミナー(秋)	対面	30	10	33.3
		065	★新人看護職員研修(実習有)	ライブ/ 対面	15	4	26.7
		066	★新人看護職員研修 ～情報管理・感染管理～	ライブ	35	12	34.3
		067	★新人看護職員研修 ～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～	ライブ	35	13	37.1
		068	★新人看護職員研修 ～フィジカルアセスメント～	ライブ	35	26	74.3
		069	★新人看護職員研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	35	17	48.6
		070	★新人看護職員研修 ～心電図・心肺蘇生法(BLS)～	ライブ	35	24	68.6
		071	★新人看護職員研修 ～スキンケア～	ライブ	35	12	34.3
		072	★新人看護職員研修 ～物品管理と経済効果・死後のケア～	ライブ	35	17	48.6
		073	★新人看護職員研修 ～コミュニケーションの技法・災害対策～	ライブ	35	10	28.6
		074	★新人助産師研修(実習有)	ライブ/ 対面	(10)	中止	
		075	★新人助産師研修 ～産科医療補償制度・産科ガイドライン・CTG判読～	ライブ	20	9	45.0
		076	★新人助産師研修 ～ハイリスク妊産婦ケア～	ライブ	20	9	45.0
		077	★新人助産師研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	20	3	15.0
		078	★新人助産師研修 ～新生児のフィジカルアセスメントとケア～	ライブ	20	10	50.0
		079	★新人助産師研修 ～糖代謝異常妊産婦へのケア～	ライブ	20	10	50.0
		080	★新人助産師研修 ～産科救急・助産ケアの実践～	ライブ	20	10	50.0
		081	★新人助産師研修 ～母乳育児～	ライブ	20	11	55.0
		082	★新人助産師研修 ～家族への支援・看護実践のリフレクション～	ライブ	20	10	50.0
	I	083	2年目看護師として自己の成長を見つめて	対面	120	113	94.2
		084	2年目看護師として自己の成長を見つめて	対面	120	79	65.8
		085	2年目看護師として自己の成長を見つめて	ライブ	200	59	29.5
		086	2年目看護師として自己の成長を見つめて	対面	120	77	64.2

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
共通	I	087	2年目看護師として自己の成長を見つめて	対面	120	62	51.7
		088	2年目看護師として自己の成長を見つめて	ライブ	200	65	32.5
	I～IV	089	看護研究 基礎編① 基礎編② 基礎編③ 基礎編④	対面	35	33	94.3
	I～IV	090	看護研究 基礎編① (No.89の聴講参加) ～研究テーマの決定と文献検索～	対面	5	10	200.0
	I～IV	091	看護研究 基礎編② ～研究計画書をつくる～	対面	5	7	140.0
	I～IV	092	看護研究 基礎編③ ～データ収集と分析～	対面	5	8	160.0
	I～IV	093	看護研究 基礎編④ ～発表・論文作成～	対面	5	6	120.0
	III～IV	094	看護研究 指導編 ～研究の指導をするためのスキル～	ライブ/対面	30	13	43.3
	I～IV	095	レポートや小論文の記述力を高めるために	対面	50	23	46.0
	I～IV	096	プレゼンテーションスキルを磨こう	対面	50	28	56.0
分類2 小計					5,850	4,005	68.5
分類3 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修（5研修中 5研修終了）							
共通	II～III	097	人を育てる臨地実習	ライブ	50	47	94.0
	II～III	098	人を育てる臨地実習	対面	50	54	108.0
	I～II	099	★実地指導者研修	対面	60	53	88.3
	I～II	100	★実地指導者研修	対面	60	65	108.3
	II～III	101	★教育担当者研修	対面	50	45	90.0
分類3 小計					270	264	97.8
分類4 看護管理者を対象とした研修（8研修中 8研修終了）							
共通	M-1	102	看護管理者ビギナー研修～主任の役割と看護管理～	対面	70	118	168.6
	M-1	103	看護管理者ビギナー研修修了者フォローアップ研修	対面	30	44	146.7
	M-1	104	看護管理者研修	対面	50	54	108.0
	M 1～IV	105	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	対面	100	161	161.0
	M 1～IV	106	メンタルヘルス不調のラインケア ～看護管理者の役割～	ライブ	50	46	92.0
	M 1～IV	107	育休・介護休暇等取得者の復職を支援するための研修	ライブ	50	14	28.0
	M 1～IV	108	公開講座 ファーストレベル特別講演	ライブ	20	2	10.0
	M 1～IV	109	公開講座 セカンドレベル特別講演	ライブ	10	1	10.0
分類4 小計					380	440	115.8
分類5 資格認定教育（5研修中 5研修終了）							
共通	I～V	110	訪問看護師養成講習会	e-ラン 講義実習	20	7	35.0
	II～III	111	★喀痰吸引等指導者養成講習会	対面	30	32	106.7
マネジメント	M-I	112	第45認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	対面	45	49	108.9
	M-I	113	第46認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	対面	45	53	117.8
	M I～II	114	第23認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	対面	40	35	87.5
分類5 小計					180	176	97.8
追加研修							
す け ア 力	新～IV	115	★【新規】新興感染症対応力強化事業	対面	60	55	91.7
追加分類1 小計					60	55	91.7
分類1～分類5 合計					8,457	6,134	72.5
協会企画研修のみ					7,380	5,475	74.2
委託（県及び市）研修のみ					915	548	59.9
委託（ACLS協会）研修のみ					162	111	68.5